



SOMPO ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク

2019年度決算説明資料

2020年5月20日

SOMPOホールディングス株式会社



目次

業績ハイライト(2019年度)	2
1. 連結業績	
2019年度決算概況(連結)	4
決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン)	5
決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン)	6
決算のポイント③ 連結経常利益	7
決算のポイント④ 連結純利益	8
2020年度通期業績予想(連結)	9
2020年度通期業績予想のポイント	10
新型コロナウイルス感染拡大などの影響	11
通期業績予想(連結経常利益)のブレークダウン	12
(参考)過去の業績進捗状況	13
(参考)経営数値目標等	14
2. 国内損保事業	
2019年度決算概況(損保ジャパン)	16
正味収入保険料	17
正味損害率(アード・インカード)	18
(参考)正味損害率(リトン・ペイド)	19
正味事業費率	20
コンバインド・レシオ	21
資産運用損益	22
(参考)資産運用粗利益の内訳	23
2020年度通期業績予想(損保ジャパン)	24
(参考)自動車保険関連の指標	25
(参考)国内自然災害	26
(参考)責任準備金・支払備金	27

3. 海外保険事業	
業績概況(海外保険事業)	29
(参考)グループ会社別業績	30
(参考)SI ^{※1} 業績概況①	31
(参考)SI業績概況②	32
4. 国内生保事業	
業績概況(ひまわり生命)	34
当期純利益(ひまわり生命)	35
修正利益・修正純資産(ひまわり生命)	36
(参考)MCEV	37
5. 介護・ヘルスケア事業等	
業績概況(介護・ヘルスケア事業等)	39
SOMPOケアの主要指標	40
6. ERM・資産運用	
財務健全性: ESR(99.5%VaR)	42
(参考)実質自己資本・リスク量のブレークダウン	43
資産ポートフォリオ(グループ連結ベース)	44
資産ポートフォリオ(損保ジャパン)	45
資産ポートフォリオ(SI)	46
資産ポートフォリオ(ひまわり生命)	47

為替レート(米ドル/円)

	2019年度 実績	2020年3月末レート
	108.83円(対前年同期比: △1.9%)	2019年12月末レート
	— 海外 ^{※2} 109.56円(対前年同期比: △1.3%)	2020年3月末レート
	2020年度 通期業績予想	108.83円
		2020年3月末レート

※1 SIはSompoインターナショナルの企業部門を指す(以下同様)

※2 海外保険事業

業績ハイライト(2019年度)

- ◆ 損保ジャパンにおいて前年度の政策株式売却加速の反動の影響を受けるも、SIなどのオーガニック成長で一定カバー、連結経常利益は△65億円減益の1,924億円、連結純利益は△241億円減益の1,225億円
- ◆ 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大などの影響を一定織り込む一方で、国内自然災害影響の平常化やベース利益の成長により、連結経常利益は2,230億円、連結純利益は1,500億円を見込む

2019年度 実績

- 損保ジャパン ・・国内自然災害の減少や、ベースの損害率改善により、保険引受利益は増益
資産運用粗利益は、前年度の政策株式売却加速の反動影響などにより減益
- 海外保険事業 ・・SIやシゴルタのオーガニック成長を主因に、修正利益は+170億円増益
- ひまわり生命 ・・保障性商品を中心とした保有契約拡大により増益
- 介護事業(SOMPOケア)・・入居率改善・生産性向上によるコスト削減により増益

2020年度 予想

- 国内自然災害の平常化や各事業のベース利益の成長を見込み、連結経常利益は+305億円増益
- 連結純利益も+274億円増益の1,500億円を見込む
- なお、新型コロナウイルス感染拡大などの連結純利益への影響額は、現時点で△140億円程度を見込む

株主還元

- 7期連続増配(含20年度配当予想)および353億円の自己株式取得を決定(19年度の総還元性向60%)

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

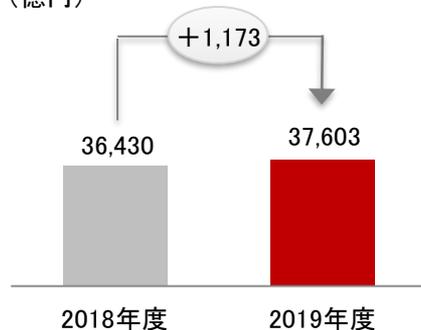
6. ERM・資産運用

2019年度決算概況(連結)

- ◆ SIおよび損保ジャパンが引き続き好調、正味収入保険料は+1,073億円増収
- ◆ 損保ジャパンにおける前年度の政策株式売却加速の反動影響を主因に、連結純利益は1,225億円

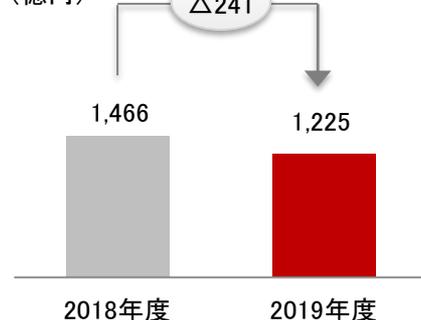
連結経常収益

(億円)



連結純利益

(億円)



(単位: 億円)

2018年度

2019年度

増減

連結経常収益	36,430	37,603	+1,173(+3.2%)
正味収入保険料	27,181	28,254	+1,073(+3.9%)
生命保険料	3,496	3,560	+64(+1.8%)
連結経常利益	1,989	1,924	△65
損保ジャパン	2,155	1,823	△331
海外グループ会社	△58	879	+937
ひまわり生命	232	255	+22
介護・ヘルスケア※ ¹	59	101	+42
その他・連結調整等※ ²	△399	△1,135	△735
連結純利益※ ³	1,466	1,225	△241
損保ジャパン	1,757	1,305	△451
海外グループ会社	△61	753	+814
ひまわり生命	153	165	+11
介護・ヘルスケア	42	61	+19
その他・連結調整等	△425	△1,061	△636
(参考)修正連結利益	1,135	1,508	+372
国内損保事業	423	608	+185
海外保険事業	330	501	+170
国内生保事業	328	320	△7
介護・ヘルスケア事業等	52	77	+25

※1 介護・ヘルスケアは、SOMPOケア、SOMPOヘルスサポートの合計

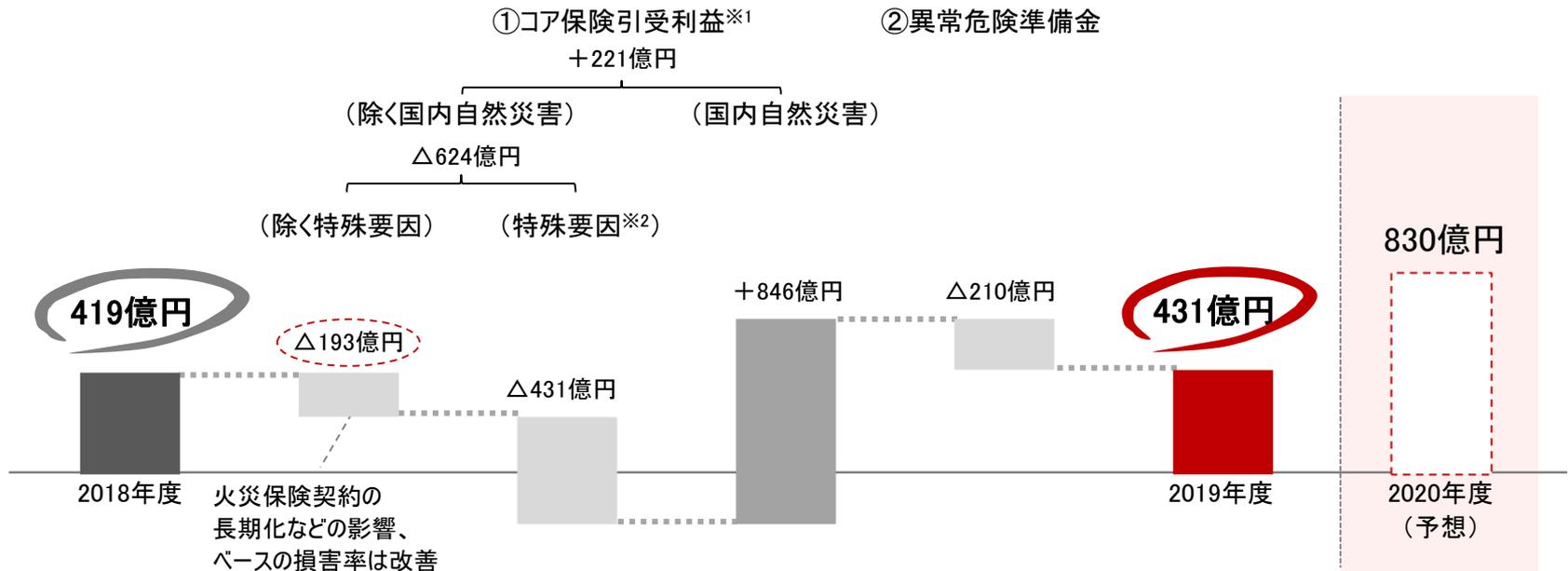
※2 上記以外の連結会社の損益および連結調整等による修正額を含む

※3 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す(以下同様)

決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン)

- ◆ 国内自然災害の減少を主因に、保険引受利益は+11億円増益の431億円
- ◆ 火災保険契約の長期化や消費増税影響を受けるも、ベースの損害率は改善

保険引受利益(損保ジャパン)の増減要因



	①コア保険引受利益			②異常危険準備金	保険引受利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)			
2018年度	△127億円	1,651億円	△1,778億円	547億円	419億円
2019年度	94億円	1,026億円	△932億円	336億円※ ³	431億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

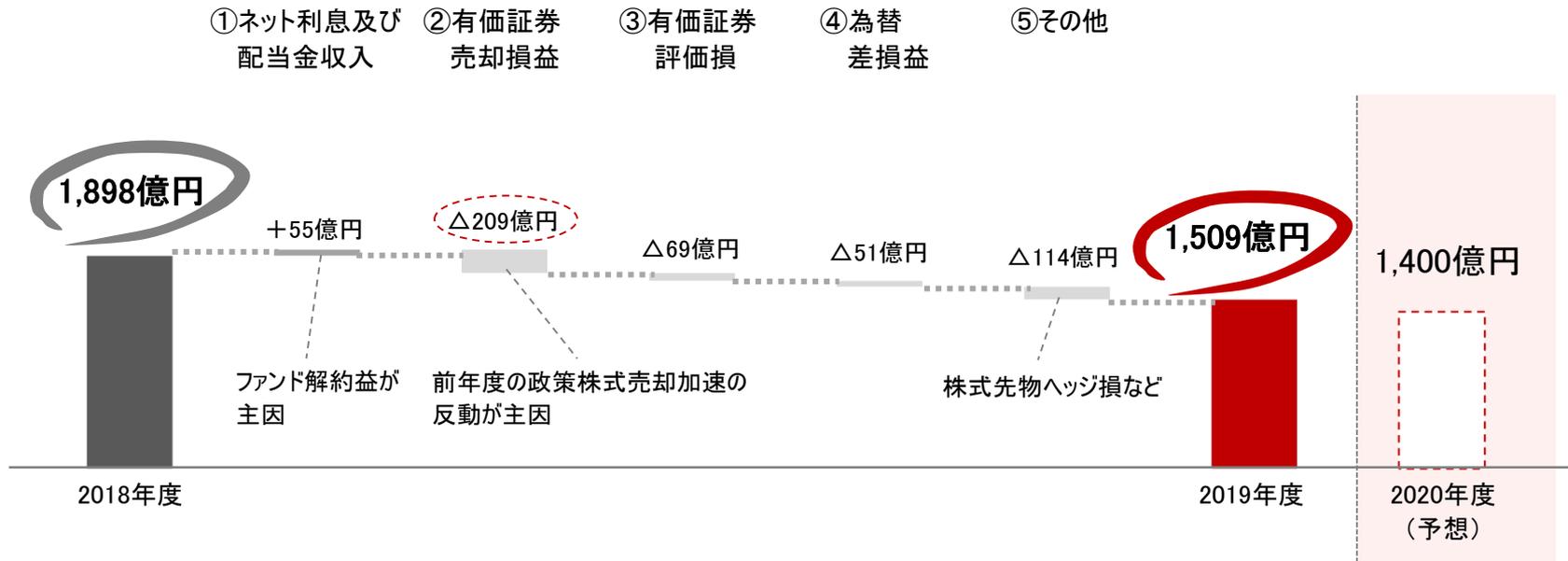
※2 責任準備金の一時的積増し(自然災害責任準備金積増)、復元保険料、消費増税影響

※3 特別繰入(△100億円)を含む

決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン)

◆ 前年度の政策株式売却加速の反動などの影響を受けるも、ベースのネット利配は堅調

資産運用粗利益(損保ジャパン)の増減要因

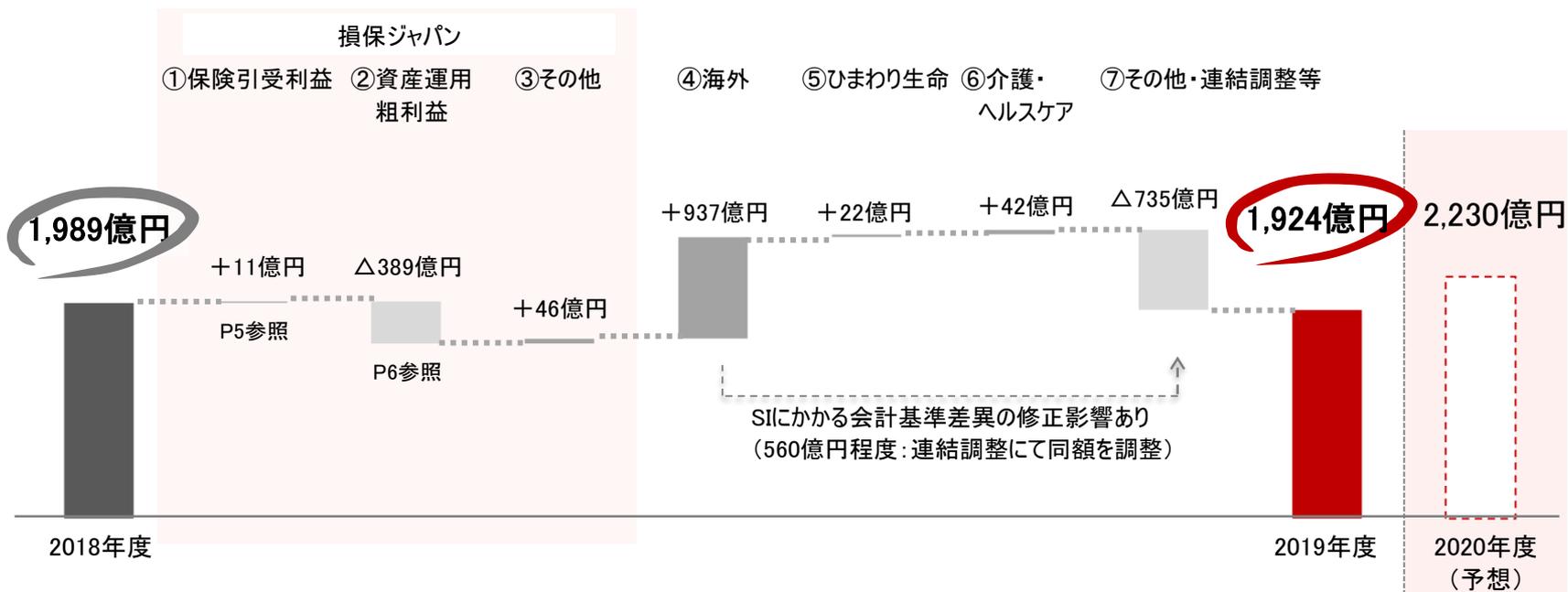


	①ネット利息及び配当金収入	②有価証券売却損益	③有価証券評価損	④為替差損益	⑤その他	資産運用粗利益
2018年度	964億円	1,000億円	△48億円	32億円	△51億円	1,898億円
2019年度	1,020億円	791億円	△117億円	△18億円	△166億円	1,509億円

決算のポイント③ 連結経常利益

◆ 損保ジャパンの前年度の政策株式売却加速の反動などの影響を、SIを中心とした海外保険事業のオーガニック成長など、他事業の増益で一定カバーし、連結経常利益は△65億円減益の1,924億円

連結経常利益の増減要因



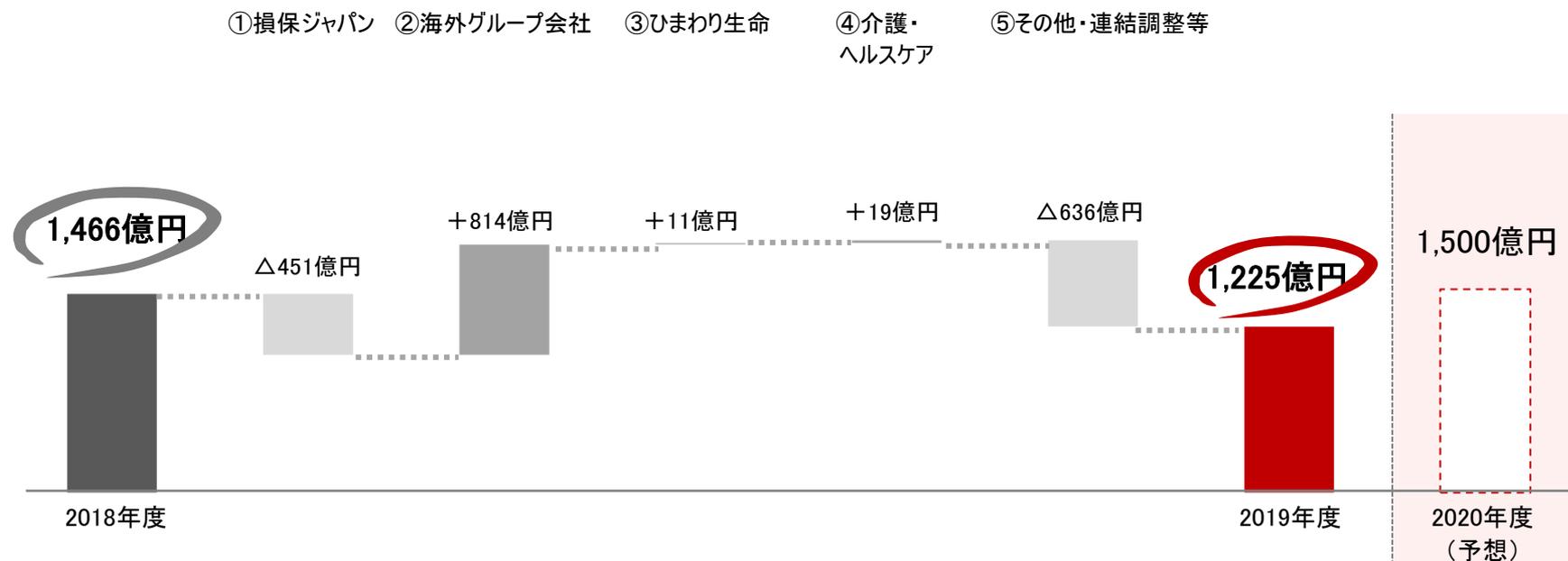
	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥介護・ヘルスケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2018年度	419億円	1,898億円	△162億円	△58億円	232億円	59億円	△399億円	1,989億円
2019年度	431億円	1,509億円	△116億円	879億円	255億円	101億円	△1,135億円*	1,924億円

※ 2019年度のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額(税前)は245億円

決算のポイント④ 連結純利益

◆ 連結純利益は、△241億円減益の1,225億円

連結純利益の増減要因



	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④介護・ヘルスケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2018年度	1,757億円	△61億円	153億円	42億円	△425億円	1,466億円
2019年度	1,305億円	753億円	165億円	61億円	△1,061億円	1,225億円

2020年度通期業績予想(連結)

(単位:億円)	2019年度 (実績)	2020年度 (予想)	対前年増減
正味収入保険料	28,254	28,600	+345(+1.2%)
生命保険料	3,560	3,585	+24(+0.7%)
連結経常利益	1,924	2,230	+305
損保ジャパン	1,823	2,100	+276
海外グループ会社	879	601	△277
ひまわり生命	255	246	△8
介護・ヘルスケア	101	104	+3
その他・連結調整等	△1,135	△823	+312
連結純利益	1,225	1,500	+274(+22.4%)
損保ジャパン	1,305	1,560	+254
海外グループ会社	753	489	△263
ひまわり生命	165	170	+4
介護・ヘルスケア	61	64	+2
その他・連結調整等	△1,061	△783	+278
(参考)修正連結利益	1,508	1,870	+361(+24.0%)
国内損保事業	608	965	+356
海外保険事業	501	510	+8
国内生保事業	320	325	+4
介護・ヘルスケア事業等	77	70	△7

2020年度通期業績予想のポイント

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大による影響を一定織り込む一方で、各事業のベース利益の成長に加え、国内自然災害の平常化等により、連結経常利益は+305億円増益の2,230億円、連結純利益は+274億円増益の1,500億円を見込む
- ◆ 株主還元の原因となる修正連結利益は、+361億円増益の1,870億円を見込む

損保ジャパン

- 国内自然災害の平常化や一過性の特殊要因の剥落に加え、料率改定による増収などにより、保険引受利益は+398億円の増益を見込む
- 政策株式は1,000億円程度の削減を継続
- 資産運用粗利益は、有価証券評価損の減少の一方で、債券売却益の剥落などにより、△108億円の減益を見込む
- これらの結果、経常利益は+276億円増益の2,100億円、当期純利益は+254億円増益の1,560億円を見込む

海外保険事業

- 新型コロナウイルス感染拡大などを背景とした金融市場変動の影響を織り込む一方で、SIの元受事業を中心としたオーガニック成長により、修正利益は増益を見込む

ひまわり生命

- 保有契約の拡大などを背景に、ベース利益は増益を見込む

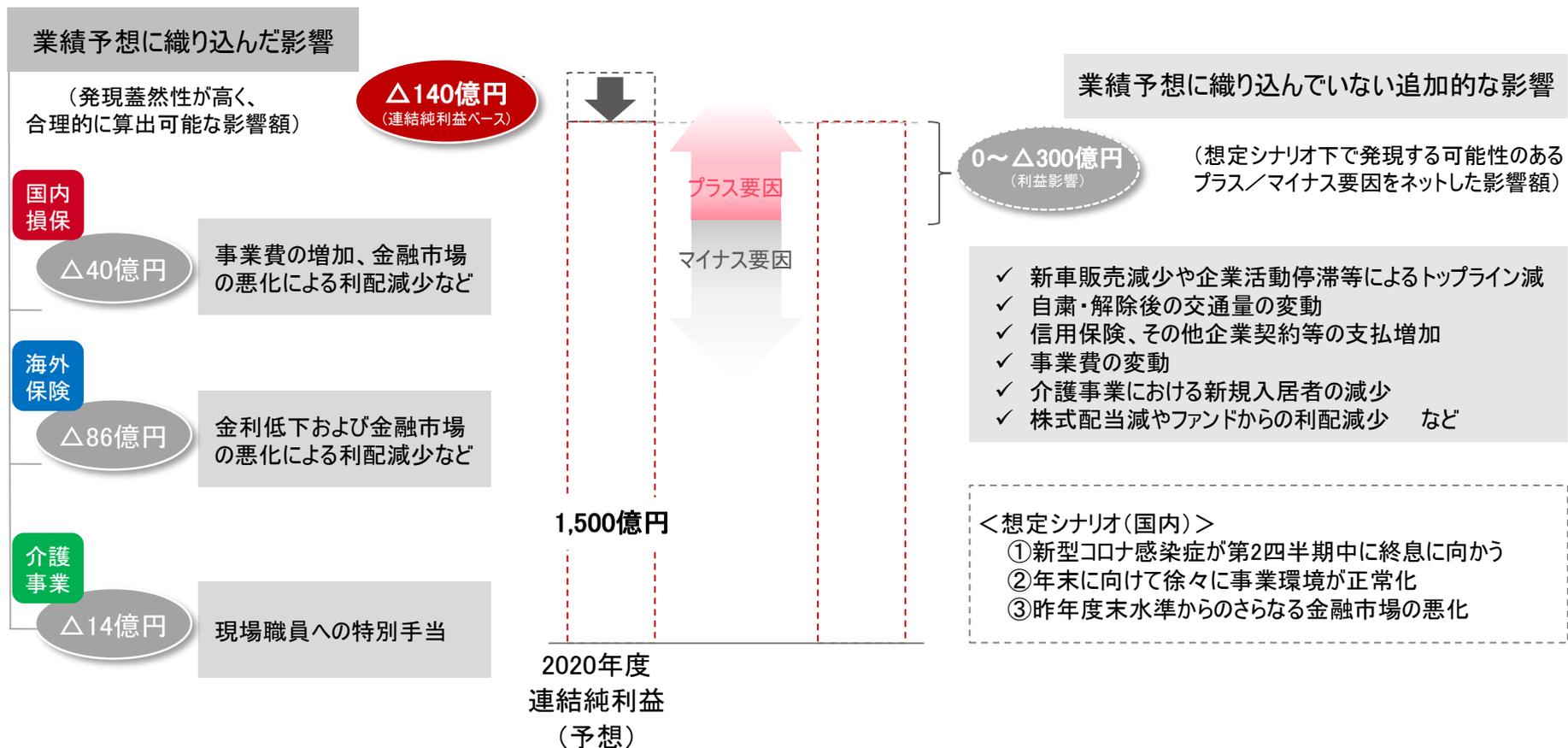
介護事業

- 引き続き入居率は改善する一方で、新型コロナウイルスに関連した対策費支出を見込む

新型コロナウイルス感染拡大などの影響

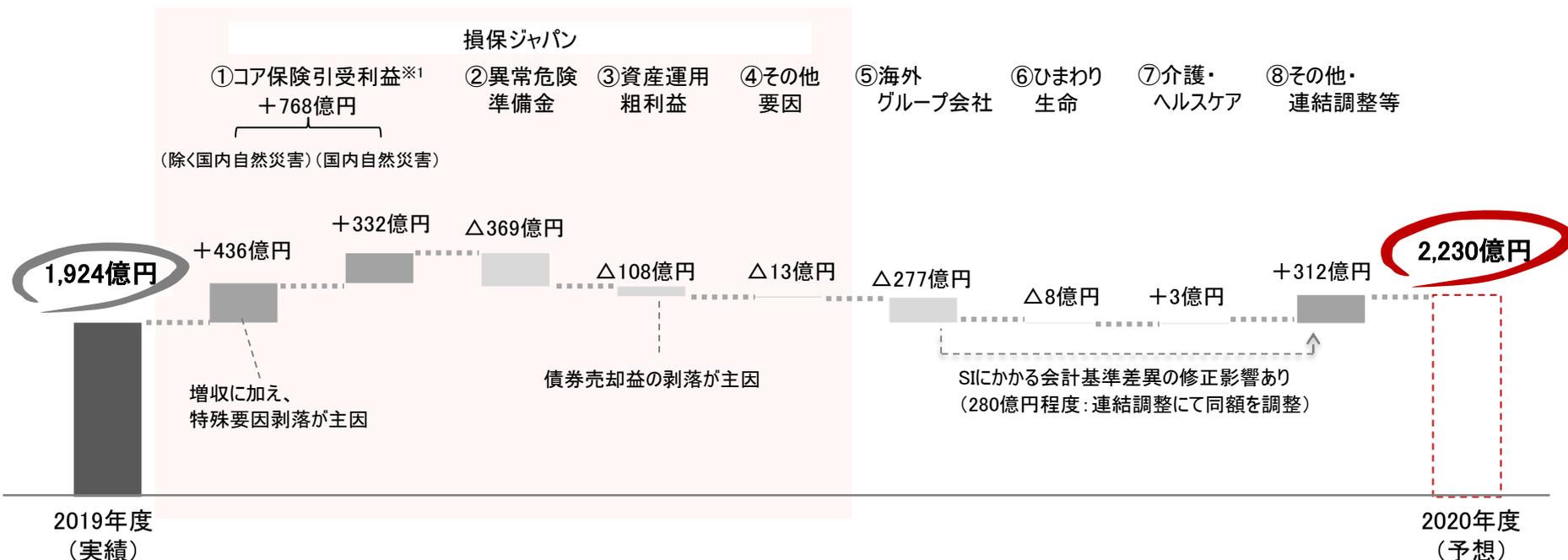
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大などの2020年度連結純利益への影響額は、現時点で△140億円程度を見込む
- ◆ なお、一定のシナリオ下で発現する可能性がある追加的な影響額は0～△300億円と試算

2020年度予想への影響



(参考) 通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン

連結経常利益の主要構成要素



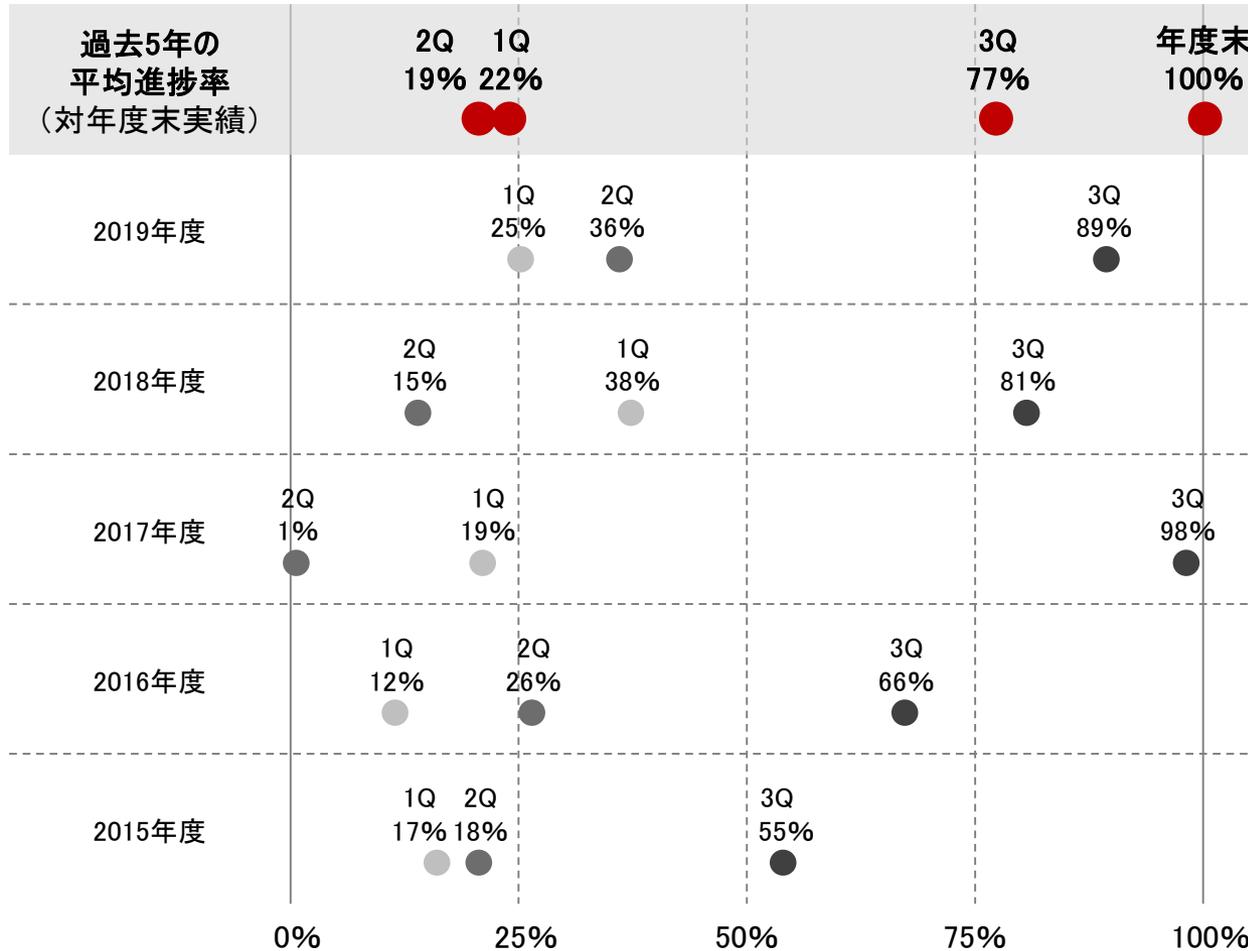
	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦介護・ヘルスケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2019年度実績	1,026億円	△932億円	336億円	1,509億円	△116億円	879億円	255億円	101億円	△1,135億円	1,924億円
2020年度予想	1,462億円	△600億円	△32億円	1,400億円	△130億円	601億円※2	246億円	104億円	△823億円※2	2,230億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2020年度予想における正味償却対象額は242億円の見込み

(参考)過去の業績進捗状況

四半期の進捗率(連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

計画数値

(単位: 億円)	2018年度	2019年度		2020年度	
	(実績)	(実績)	対前年 増減	(予想)	対前年 増減
国内損保事業	423	608	+185	965	+356
海外保険事業	330	501	+170	510	+8
国内生保事業	328	320	△7	325	+4
介護・ヘルスケア事業等	52	77	+25	70	△7
合計(修正連結利益)	1,135	1,508	+372	1,870	+361
修正連結ROE※2	4.5%	6.4%	+1.9pt	8.1%	+1.8pt
ROE(J-GAAPベース)	8.0%	7.3%	△0.7pt	9.4%	+2.1pt

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益
 + 異常危険準備金繰入額等(税引後)
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損(税引後)

海外保険事業

当期純利益(主な非連結子会社含む)
 なお、SIのみOperating Income※3

国内生保事業

当期純利益
 + 危険準備金繰入額(税引後)
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)
 + 責任準備金補正(税引後)
 + 新契約費繰延(税引後)
 - 新契約費償却(税引後)

介護・ヘルスケア事業等

当期純利益

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 修正連結ROE=修正連結利益÷修正連結純資産(分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産=連結純資産(除く国内生保事業純資産)+国内損保事業異常危険準備金等(税引後)+国内損保事業価格変動準備金(税引後)+国内生保事業修正純資産
 国内生保事業修正純資産=国内生保事業純資産(J-GAAP)+危険準備金(税引後)+価格変動準備金(税引後)+責任準備金補正(税引後)+未償却新契約費(税引後)

※3 SIのOperating Income=当期純利益-為替損益-有価証券売却・評価損益-減損損失など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

- ◆ 国内自然災害影響が減少したものの、前年度の政策株式売却加速の反動影響を主因に、当期純利益は△451億円の減益
- ◆ 一方で、ベースの損害率改善などを背景に、修正利益は+173億円増益

(単位:億円)	2018年度	2019年度	増減
正味収入保険料	21,486	21,847	+361(+1.7%)
(除く自賠責・家計地震)	18,698	19,038	+339(+1.8%)
既経過保険料(除く自賠責・家計地震)	18,692	18,739	+46(+0.2%)
E/I損害率(除く自賠責・家計地震)	67.2%	63.3%	△3.9pt
正味損害率	69.8%	64.9%	△4.9pt
(除く自賠責・家計地震)	68.0%	63.5%	△4.6pt
正味事業費率	32.1%	32.4%	+0.3pt
(除く自賠責・家計地震)	33.6%	33.8%	+0.3pt
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠責・家計地震)	101.6%	97.3%	△4.3pt
(参考)コンバインド・レシオ(E/I) ^{※1} (除く自賠責・家計地震)	100.8%	97.2%	△3.6pt
保険引受利益	419	431	+11
資産運用粗利益	1,898	1,509	△389
経常利益	2,155	1,823	△331
当期純利益	1,757	1,305	△451
(参考) 修正利益			
異常危険準備金繰入額等(税引後)	△392	△239	+152
価格変動準備金繰入額(税引後)	+28	+28	△0
有価証券売却損益・評価損(税引後)	△686	△469	+217
特殊要因(税引後) ^{※2}	△239	+15	+255
修正利益	467	641	+173

前年度の政策株式売却加速の反動が主因

前年度の固定資産売却益剥落影響を含む

※1 E/I損害率+正味事業費率(以下同様)

※2 株式先物関連損益等

◆ 火災保険、自動車保険が増収を牽引、中小企業向けの新種保険も引き続き好調

種目別正味収入保険料

(単位: 億円)	2018年度	2019年度	増減		2020年度 (予想)
火災	2,650	2,851	+200	(+7.6%)	2,912
海上	443	469	+25	(+5.8%)	452
傷害	1,707	1,669	△37	(△2.2%)	1,685
自動車	10,731	10,847	+115	(+1.1%)	11,069
自賠責	2,781	2,805	+23	(+0.8%)	2,299
その他	3,172	3,205	+32	(+1.0%)	3,314
うち賠償責任	1,692	1,685	△7	(△0.4%)	1,677
合計	21,486	21,847	+361	(+1.7%)	21,735
合計(除く自賠責・家計地震)	18,698	19,038	+339	(+1.8%)	19,431

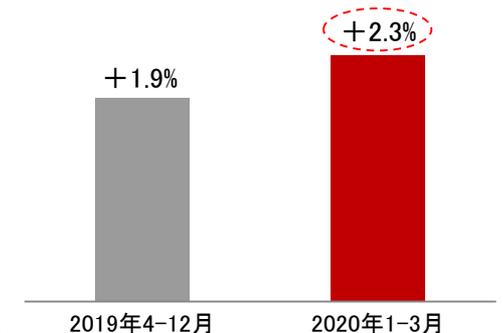
(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
対前年同期比(2019年4月～2020年3月)
(営業成績保険料ベース)

	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.8%	+2.0%	+1.1%
フリート	+3.1%	△1.0%	+2.0%
合計	△0.0%	+1.3%	+1.3%

※ 時間単位型自動車保険 乗るビタ！を除く

<ノンフリート保険料単価>

2020年1月改定後単価増トレンド加速



(主な増減要因)

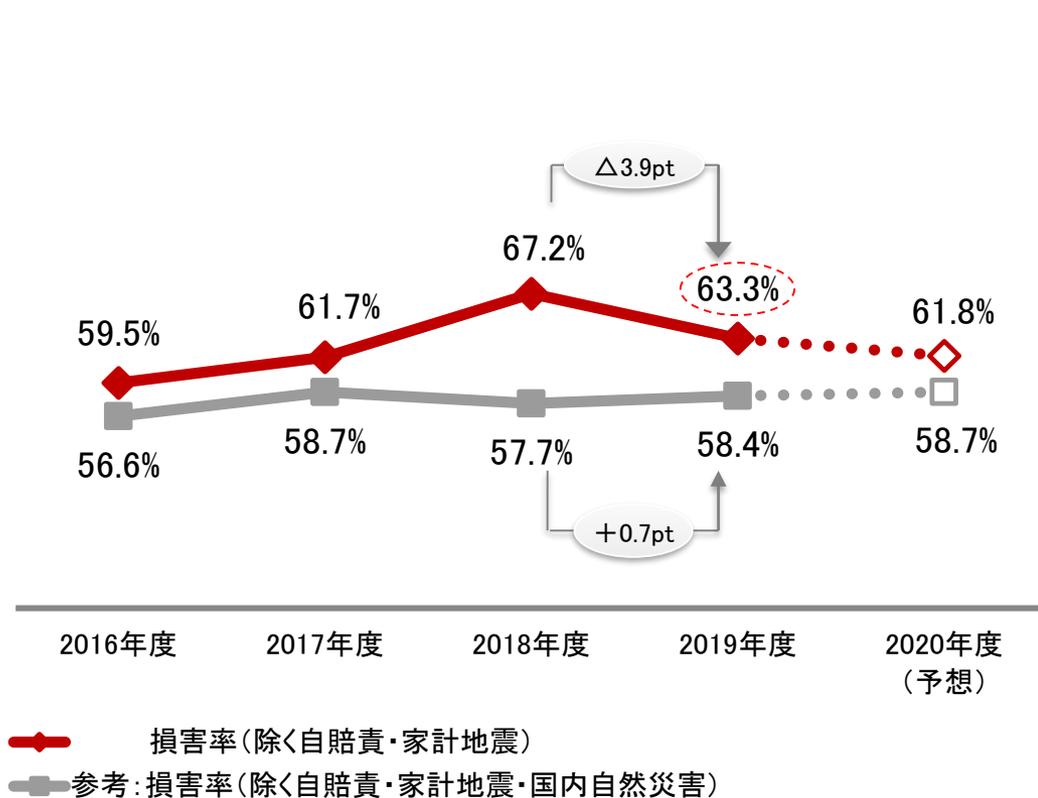
火災：長期契約を中心とした新規契約の増加、企業物件を中心とした料率適正化などが主因

自動車：2019年1月および2020年1月の商品・料率改定による単価アップに加え、大口フリートの成約などにより増収

その他：中小企業向けパッケージ商品の販売が引き続き好調

- ◆ 国内自然災害の発生損害額減少を主因に、E/I損害率は△3.9pt改善
- ◆ 2020年度は、債権法改正や再保険コスト増影響に加え、自動車修理費単価増などを反映

E/I損害率の推移

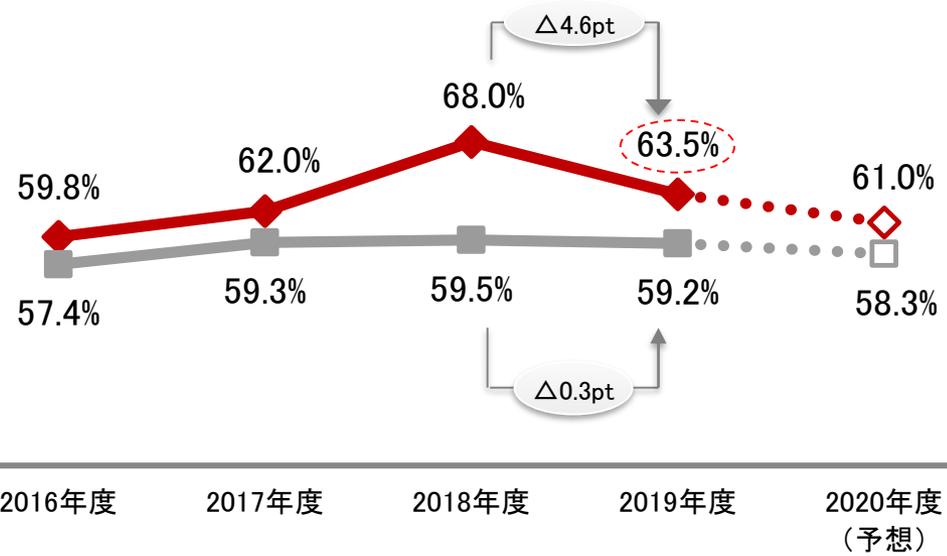


(参考)種目別E/I損害率

	2019年度		2020年度(予想)
	損害率	対前年増減	損害率
火災(除く家計地震)	84.1%	△17.4pt	65.4%
海上	57.2%	△26.4pt	56.9%
傷害	52.6%	△0.6pt	55.4%
自動車	59.8%	△1.7pt	62.5%
その他	64.3%	+3.3pt	60.0%
合計(除く自賠償・家計地震)	63.3%	△3.9pt	61.8%

正味損害率の推移

(参考) 種目別W/P損害率

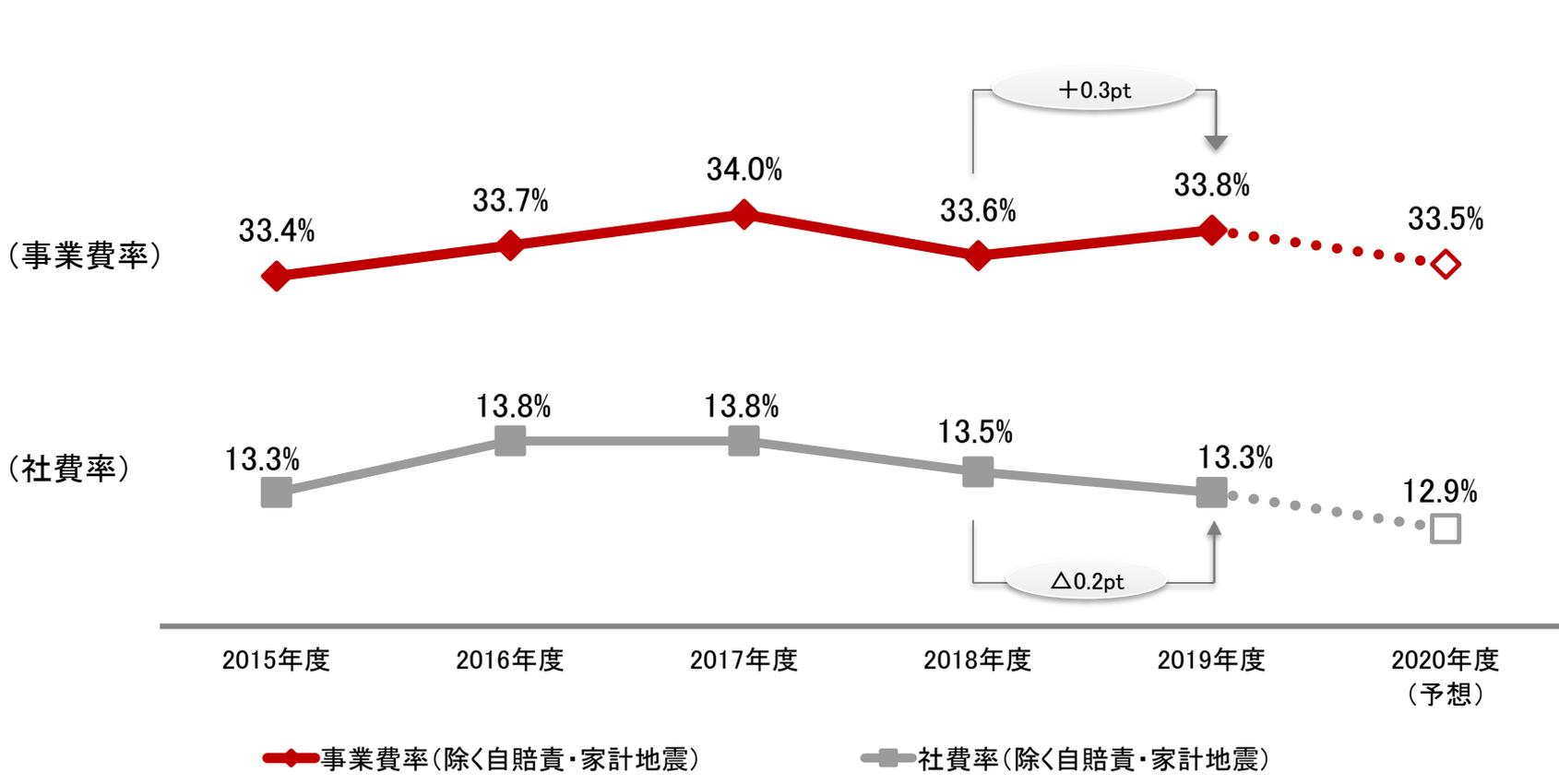


	2019年度		2020年度(予想)
	損害率	対前年増減	損害率
火災(除く家計地震)	84.7%	$\Delta 21.3\text{pt}$	69.4%
海上	63.5%	$\Delta 16.7\text{pt}$	62.9%
傷害	54.7%	$\Delta 2.2\text{pt}$	54.9%
自動車	60.6%	$\Delta 1.7\text{pt}$	60.5%
その他	59.0%	$\Delta 1.2\text{pt}$	58.2%
合計(除く自賠償・家計地震)	63.5%	$\Delta 4.6\text{pt}$	61.0%

◆ 損害率(除く自賠償・家計地震)
■ 参考: 損害率(除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

◆ 社費率は着実に削減

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移

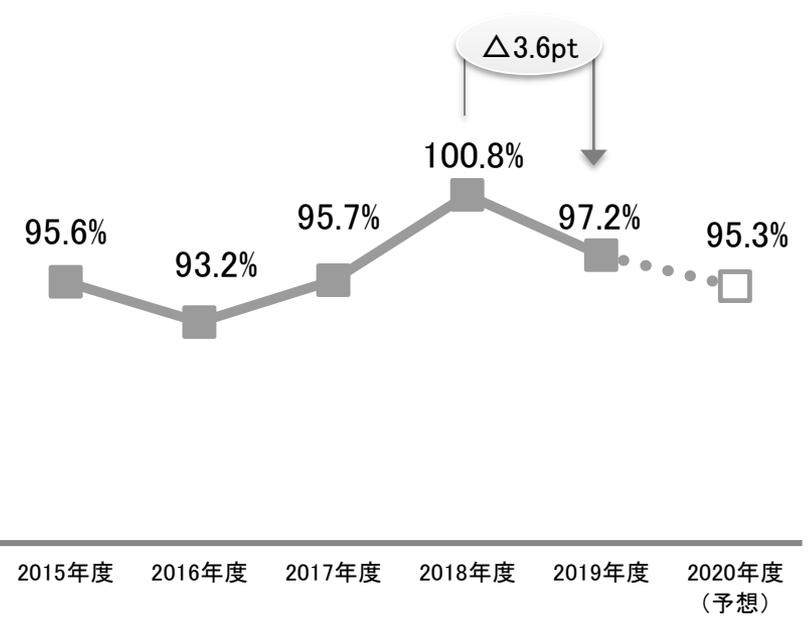


※ 保険引受に係る営業費及び一般管理費の正味収入保険料に対する比率

◆ コンバインド・レシオは、 $\Delta 4.3\text{pt}$ 改善の97.3%

コンバインド・レシオ(W/P) (除く自賠責・家計地震)

(参考)E/コンバインド・レシオ(除く自賠責・家計地震)



◆ 政策株式は概ね計画どおり削減

資産運用粗利益(損保ジャパン単体)

(単位:億円)		2018年度	2019年度	増減	2020年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	①	964	1,020	+55	826
利息及び配当金収入※		1,346	1,371	+25	1,168
(うち海外子会社配当金)		231	227	△4	217
有価証券売却損益※	②	1,000	791	△209	635
(うち国内株式)		1,012	649	△362	610
有価証券評価損※	③	△48	△117	△69	△30
(うち国内株式)		△32	△89	△57	△20
金融派生商品損益	④	△64	△92	△27	△69
その他損益	⑤	45	△93	△138	38
資産運用粗利益	(①~⑤計)	1,898	1,509	△389	1,400

(参考)政策株式削減額

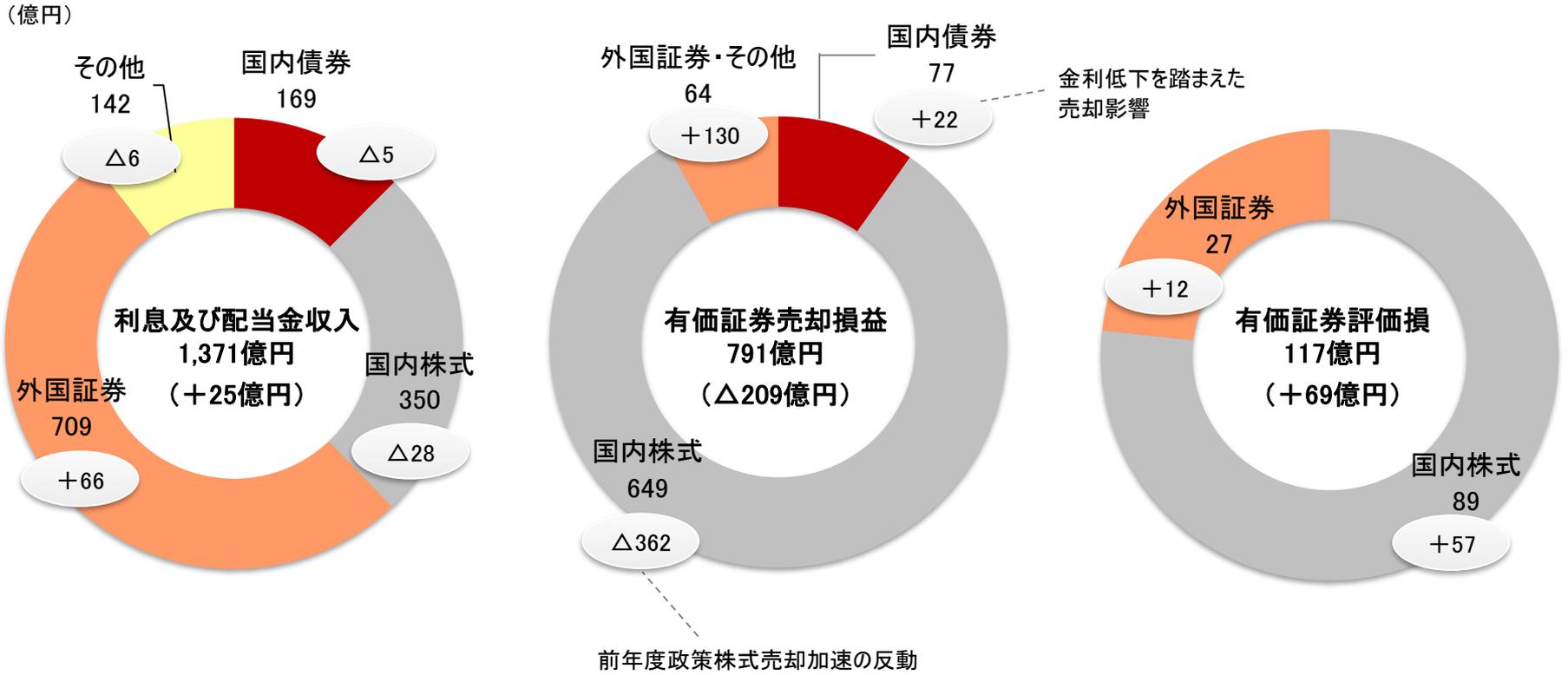
1,004億円

時価ベースのネット削減額
(売却時価-購入時価)

※ 内訳は次ページ参照

(参考) 資産運用粗利益の内訳

利息及び配当金収入・有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳(2019年度)



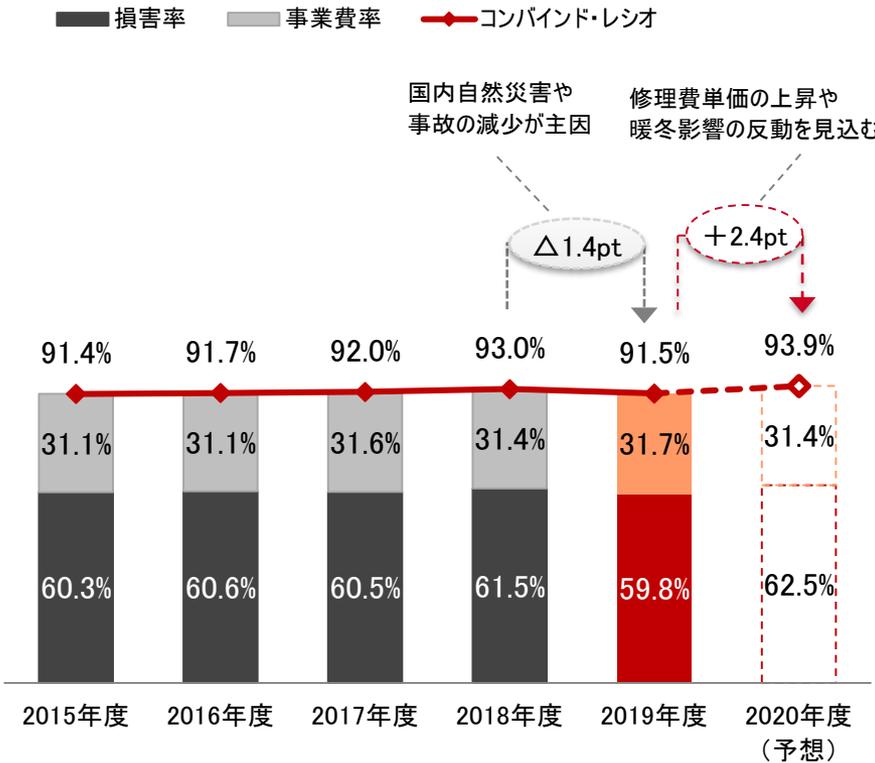
○ : 2018年度対比の増減額

2020年度通期業績予想(損保ジャパン)

(単位:億円)	2019年度 (実績)	2020年度 (予想)	増減
正味収入保険料	21,847	21,735	△112(△0.5%)
(除く自賠責・家計地震)	19,038	19,431	+393(+2.1%)
既経過保険料(除く自賠責・家計地震)	18,739	19,250	+511(+2.7%)
E/I損害率(除く自賠責・家計地震)	63.3%	61.8%	△1.5pt
正味損害率	64.9%	64.1%	△0.8pt
(除く自賠責・家計地震)	63.5%	61.0%	△2.4pt
正味事業費率	32.4%	32.8%	+0.4pt
(除く自賠責・家計地震)	33.8%	33.5%	△0.3pt
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠責・家計地震)	97.3%	94.6%	△2.8pt
(参考)コンバインド・レシオ(E/I)(除く自賠責・家計地震)	97.2%	95.3%	△1.8pt
保険引受利益	431	830	+398(+92.5%)
資産運用粗利益	1,509	1,400	△108(△7.2%)
経常利益	1,823	2,100	+276(+15.1%)
当期純利益	1,305	1,560	+254(+19.5%)
(参考) 修正利益			
異常危険準備金繰入額等(税引後)	△239	+24	+264
価格変動準備金繰入額(税引後)	+28	+28	+0
有価証券売却損益・評価損(税引後)	△469	△436	+32
特殊要因(税引後)※	+15	△190	△206
修正利益	641	986	+344(+53.8%)

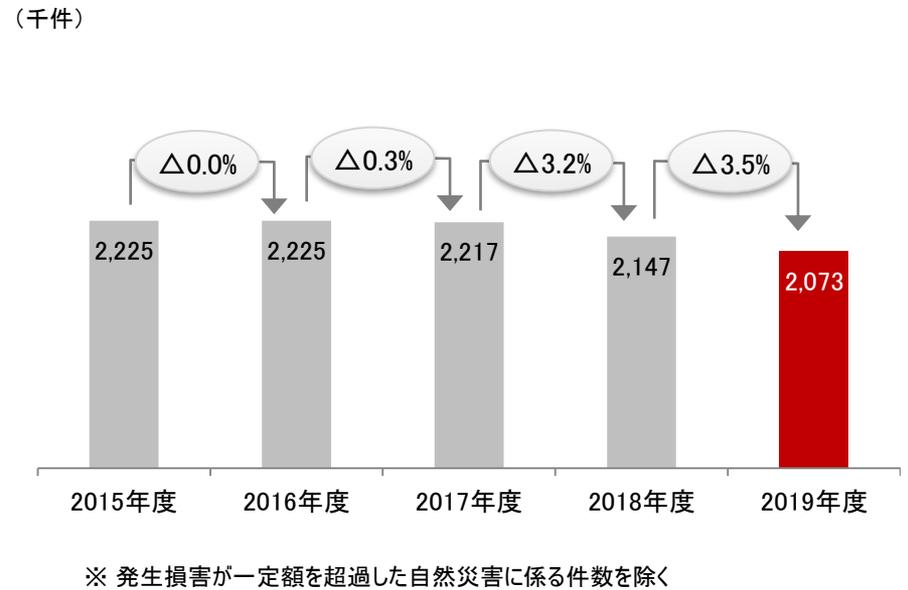
※ グループ会社配当など

コンバインド・レシオの推移



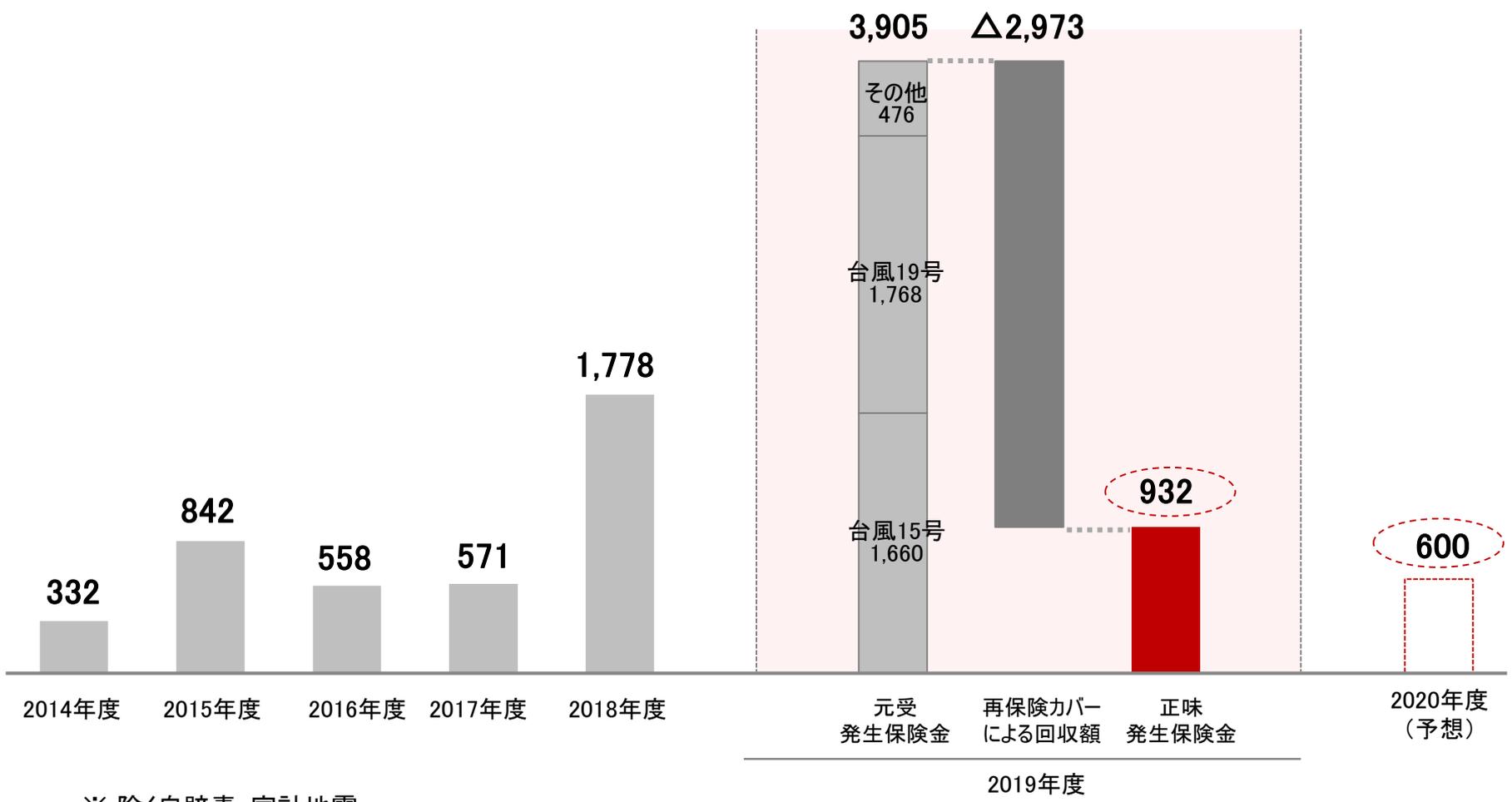
※ 損害率はE/Iベース(含む損調費)

事故受付件数の推移



国内自然災害の正味発生損害(当年度発生)※

(億円)



※ 除く自賠償・家計地震

責任準備金・支払備金(2019年度)

(単位:億円)	普通責任準備金 ^{※1}		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災 ^{※2}	7,602	+425	1,069	△282	1,086	△153
海上	215	+68	440	+2	225	△40
傷害	1,274	+18	715	+20	539	△43
自動車	3,194	+50	357	△32	3,782	△113
自賠責 ^{※2}	4,630	+242	-	-	688	△51
その他	3,467	+60	1,996	△44	2,270	+136
合計	20,383	+865	4,578	△336	8,591	△265
合計(除く自賠責・家計地震)	15,697	+622	4,578	△336	7,902	△213
	残高	積増額				積増額
長期性資産 ^{※3}	12,209	△756	外貨建支払備金の為替影響			△36

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

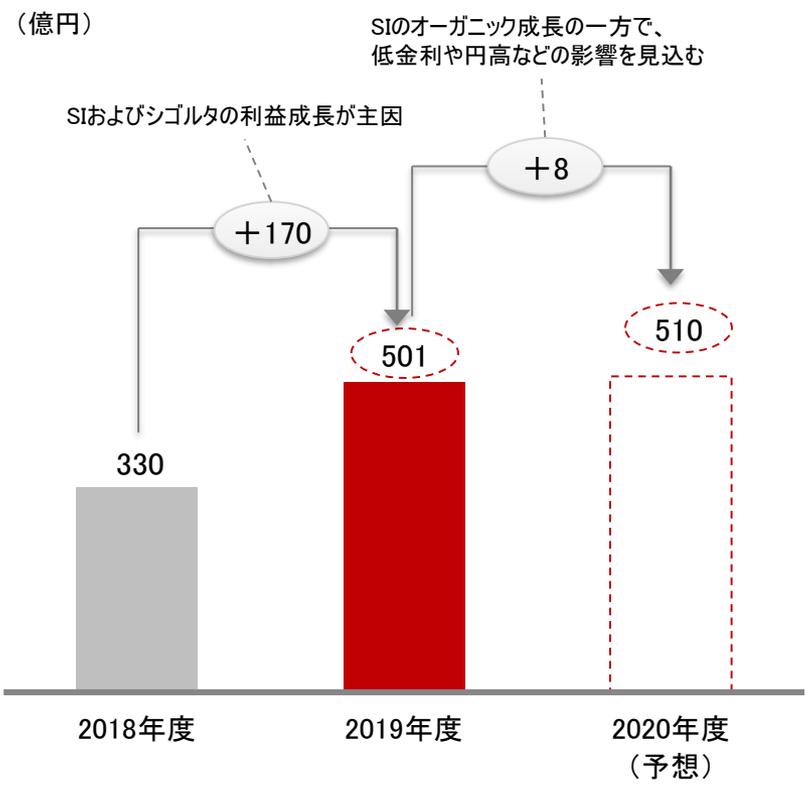
4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

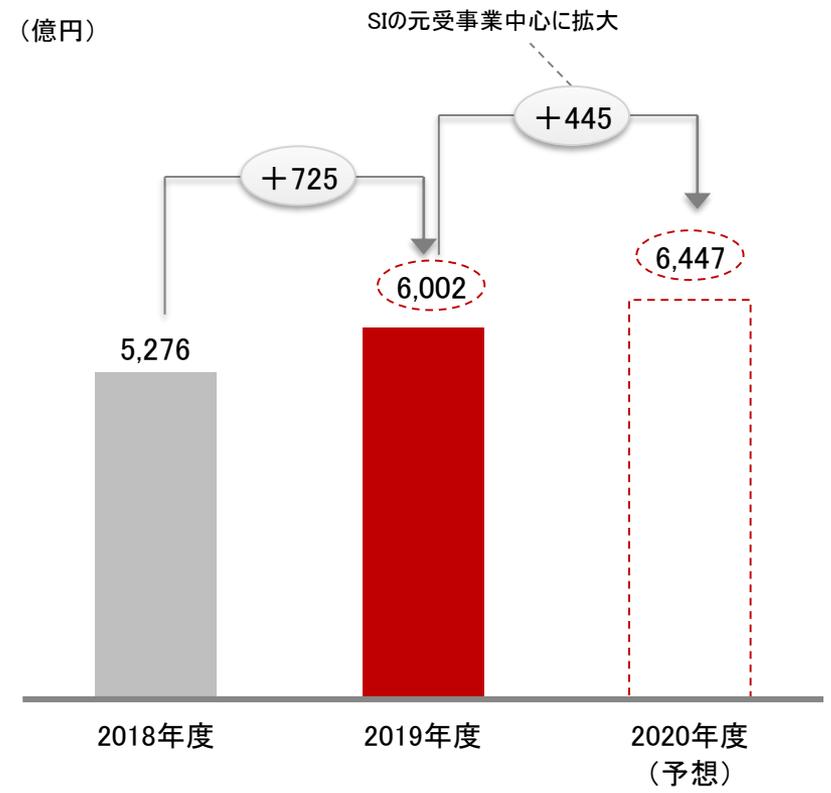
6. ERM・資産運用

◆ SIやシゴルタのオーガニック成長を主因に、2019年度の修正利益は+170億円増益の501億円

修正利益※



(参考)収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

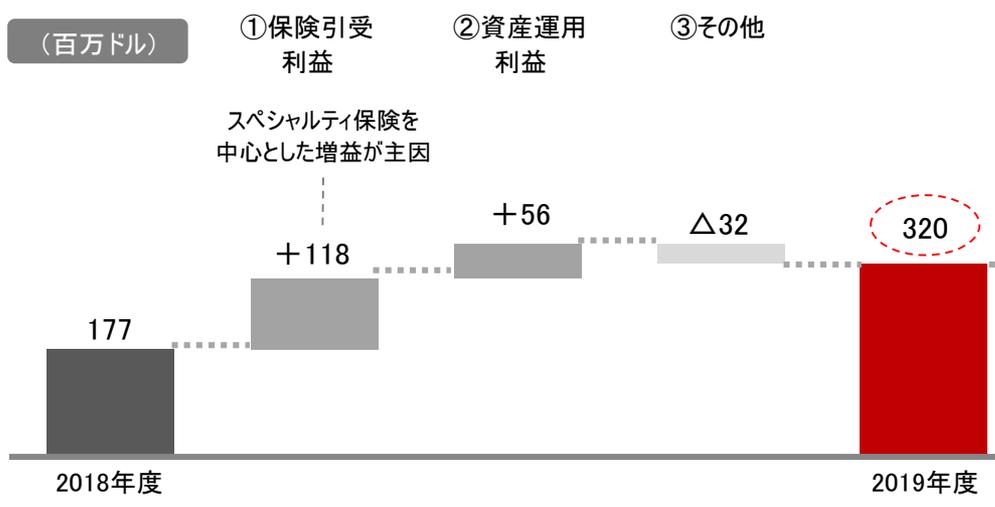
(参考)グループ会社別業績

(単位: 億円)		収入保険料			修正利益			ポイント	(参考) 為替レート
		2019年度		2020年度	2019年度		2020年度		2019年12月※2 (対前年為替影響)
		実績	増減	予想	実績	増減	予想		
欧米	SI	4,295	+610	4,748	351	+153	410	※P31、P32ご参照	109.56 円/米ドル (△1.3%)
アジア・中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	405	+86	442	82	+13	46	2019年度は自動車保険等の増収に加え、損害率も改善、2020年度は通貨安や金利低下による運用収入減を見込む	18.42 円/リラ (△12.2%)
	Sompoシンガポール	77	+1	75	1	△2	6	2020年度は、保険引受の厳格化による損害率改善を見込む	81.07 円/SGドル (+0.1%)
	ベルジャヤソンプ (マレーシア)	144	+4	148	14	+3	12	2019年度は運用収益が好調に推移	26.61 円/リンギット (△0.3%)
	Sompoインドネシア	65	△0	80	5	+4	5	2019年度は損害率改善が奏功、2020年度は自動車保険中心に増収を見込む	0.0079 円/ルピア (+2.6%)
	Sompo中国 NK中国	63	+9	75	9	+0	6	-	15.67 円/人民元 (△3.0%)
	Sompo香港	35	△3	35	2	△2	3	-	14.07 円/香港ドル (△0.8%)
	ユニバーサルソンプ (インド)	74	+8	90	7	+0	3	2019年度は農業保険が好調に推移、2020年度は自動車保険中心に増収を見込む	1.46 円/ルピー (△9.3%)
	AYA SOMPO (ミャンマー)	-	-	2	-	-	0	2020年度から連結開始	0.0737 円/チャット (-)
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	803	+7	702	20	△2	15	2019年度は保険引受の厳格化により損害率改善、2020年度は自動車保険中心にリアル建てでは増益見込み	27.07 円/リアル (△5.5%)
上記以外(非連結)※1		35	△0	44	5	+2	0	-	-
合計		6,002	+725	6,447	501	+170	510	-	-

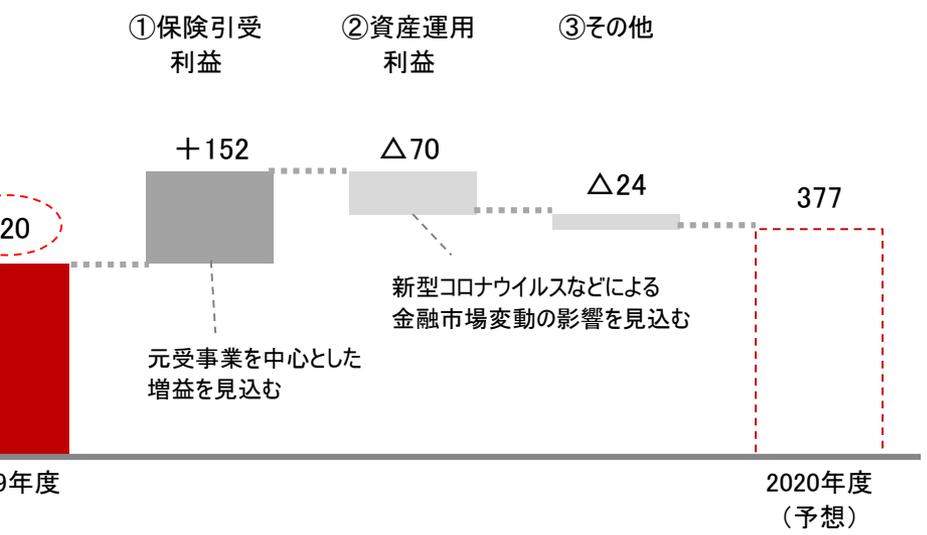
※1 Sompoタイランド、PGAソンプ(フィリピン)、ユナイテッドインシュアランス(ベトナム)の合計

※2 ユニバーサルソンプの為替レートは2020年3月末時点、通期業績予想における前提為替レートは2020年3月末時点を使用

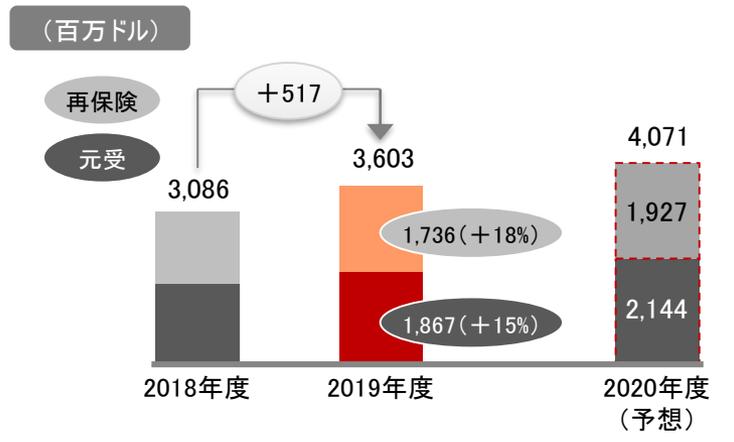
修正利益の増減要因(2019年度実績)



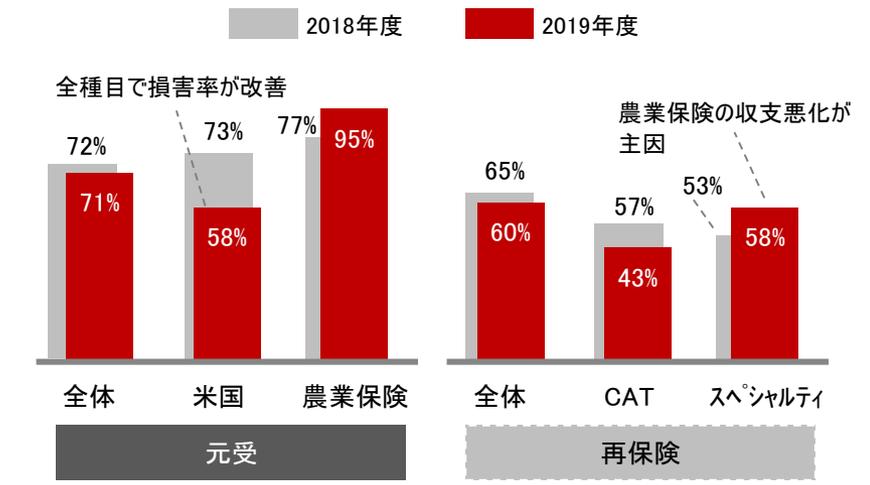
修正利益の増減要因(2020年度予想)



既経過保険料の推移



主要セグメント別損害率



(参考)SI業績概況②

(百万ドル)	2018年度	2019年度		2020年度		
	(実績)	(実績)	対前年増減	(予想)	対前年増減	
グロス保険料	5,960	6,787	+827	7,111	+323	▶ 順調なレートアップが主因
正味保険料	3,319	3,921	+601	4,363	+442	
既経過保険料	3,086	3,603	+517	4,071	+467	
発生保険金	2,114	2,372	+257	2,550	+178	
事業費	952	1,095	+142	1,234	+138	
損害率※1	68.5%	65.8%	△2.7pt	62.6%	△3.2pt	▶ 米国元受事業の損害率改善が主因
事業费率※1	30.9%	30.4%	△0.5pt	30.3%	△0.1pt	▶ 社费率の改善が主因
コンバインド・レシオ※1	99.4%	96.2%	△3.2pt	93.0%	△3.3pt	
保険引受利益	24	143	+118	295	+152	
資産運用利益	244	301	+56	230	△70	
その他損益	△175	177	+352	△71	△249	▶ 有価証券未実現益の増加影響が主因
当期純利益	72	553	+481	377	△176	
(参考) (+) 為替損益	△15	+6	+21	-	△6	
(参考) (+) 有価証券売却・減損損失等※2	+123	△274	△398	-	+274	
(参考) (+) 税効果	△1	+35	+37	-	△35	
(参考) (+) その他	-	-	-	-	-	
修正利益	177	320	+142	377	+57	

※1 損害率、事業费率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング(季節性イメージ)

1Q:10~15% 2Q:25~30% 3Q:30~35% 4Q:25~30%

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

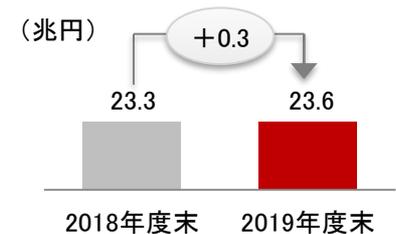
- ◆ 保障性商品を中心とした保有契約拡大により、経常利益・当期純利益ともに拡大
- ◆ 2020年度も引き続き保有契約が拡大し、当期純利益は+4億円増益の170億円を見込む

主要業績

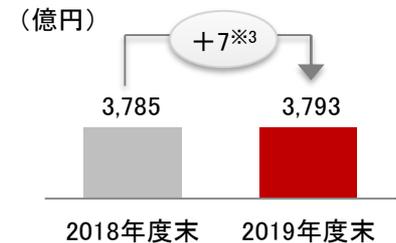
(単位:億円)	2018年度	2019年度	増減	2020年度	
				(予想)	(増減)
新契約年換算保険料	370	250	△120 (△32.5%)	310	+60
保険料等収入※1	4,444	4,465	+20 (+0.5%)	4,536	+70
保険金等支払	679	733	+53 (+7.9%)	751	+17
事業費	932	876	△56 (△6.1%)	934	+58
資産運用損益	451	458	+7 (+1.7%)	476	+17
(うち一般勘定)	447	478	+30 (+6.9%)	470	△7
基礎利益	278	272	△5 (△2.0%)	269	△3
経常利益※1	265	284	+18 (+7.0%)	275	△8
当期純利益	153	165	+11 (+7.7%)	170	+4
修正利益	328	320	△7 (△2.4%)	325	+4

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値(連結様式とは異なる)

(参考)保有契約高※2



(参考)保有契約年換算保険料※2

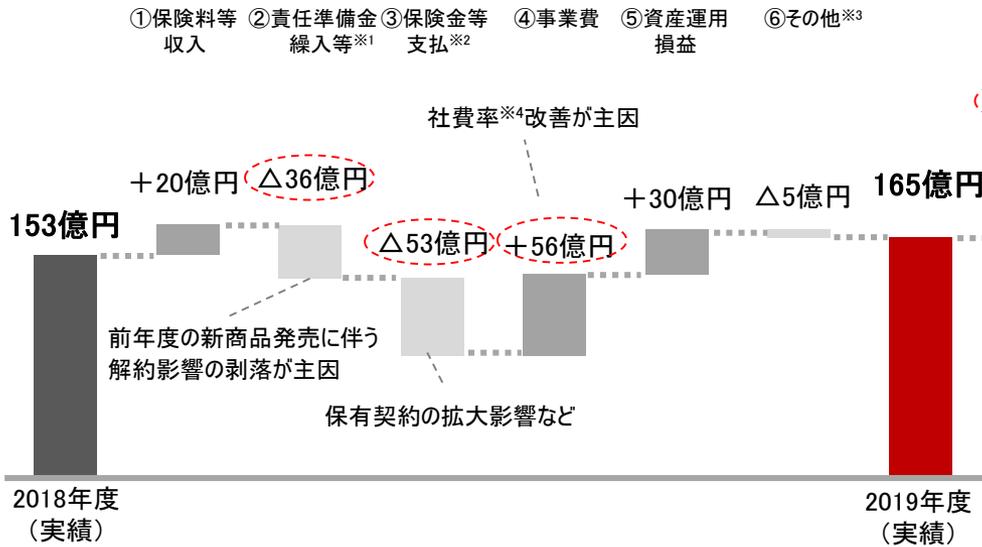


※2 個人保険と個人年金保険の合計

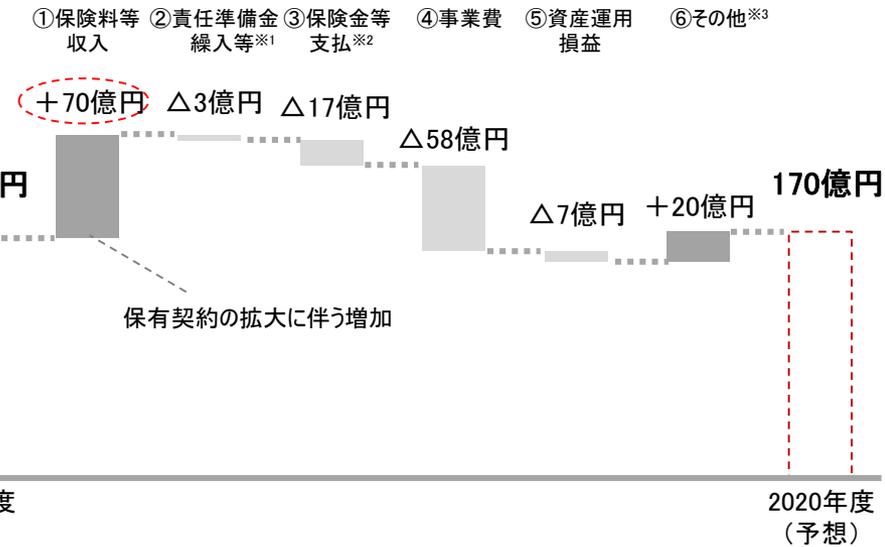
※3 うち保障性商品+58億円

- ◆ 2019年度は、保有契約の拡大や事業費削減などにより増益
- ◆ 2020年度は、保険料等収入の拡大を主因に増益を見込む

当期純利益の増減要因(2019年度実績)



当期純利益の増減要因(2020年度予想)

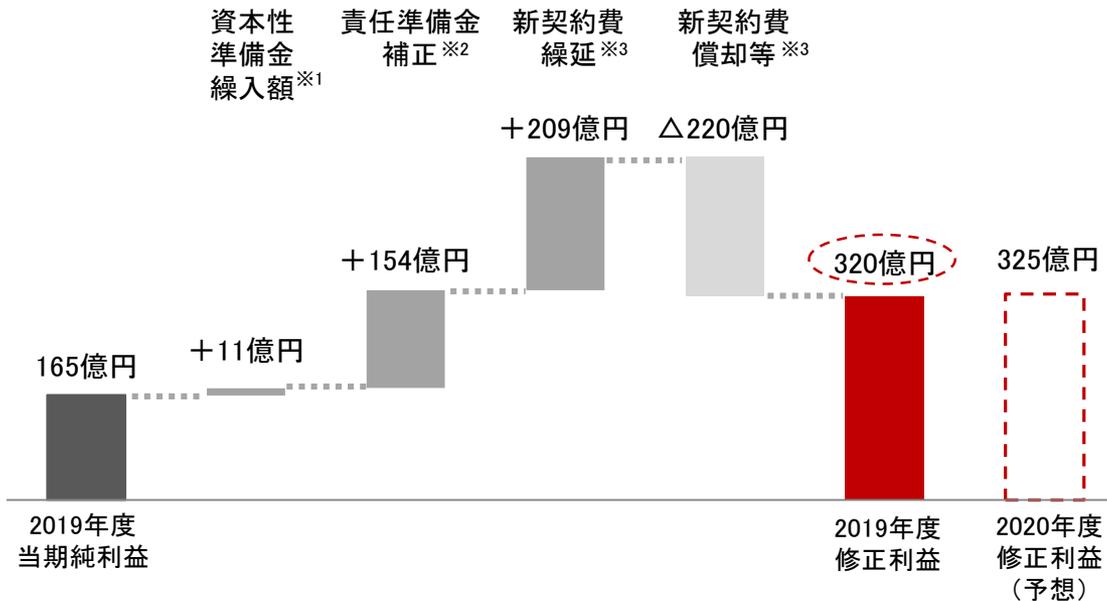


	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2018年度実績	4,444億円	△2,988億円	△679億円	△932億円	447億円	△136億円	153億円
2019年度実績	4,465億円	△3,025億円	△733億円	△876億円	478億円	△141億円	165億円
2020年度(予想)	4,536億円	△3,029億円	△751億円	△934億円	470億円	△121億円	170億円

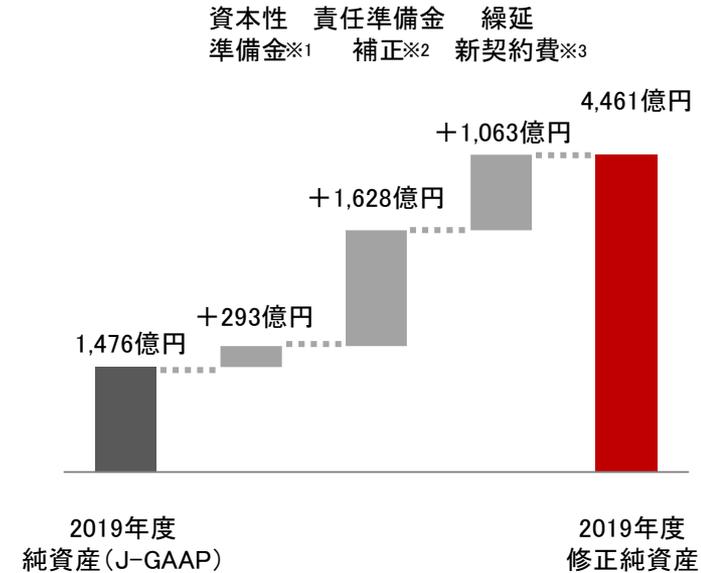
※¹ 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響を含む
 ※² 保険金備金(除く満期保険金備金)、給付金備金(除く生存給付金備金)繰入取崩影響を含む
 ※³ その他経常損益、特別勘定の資産運用損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計
 ※⁴ 一般管理費÷保険料収入

- ◆ 2019年度の修正利益は320億円と、新契約減少や保険金等の増加により前年(328億円)を下回る
- ◆ 2020年度は新商品を中心とした保険料等収入拡大により+4億円増益の325億円を見込む

当期純利益から修正利益へのコンバージョン

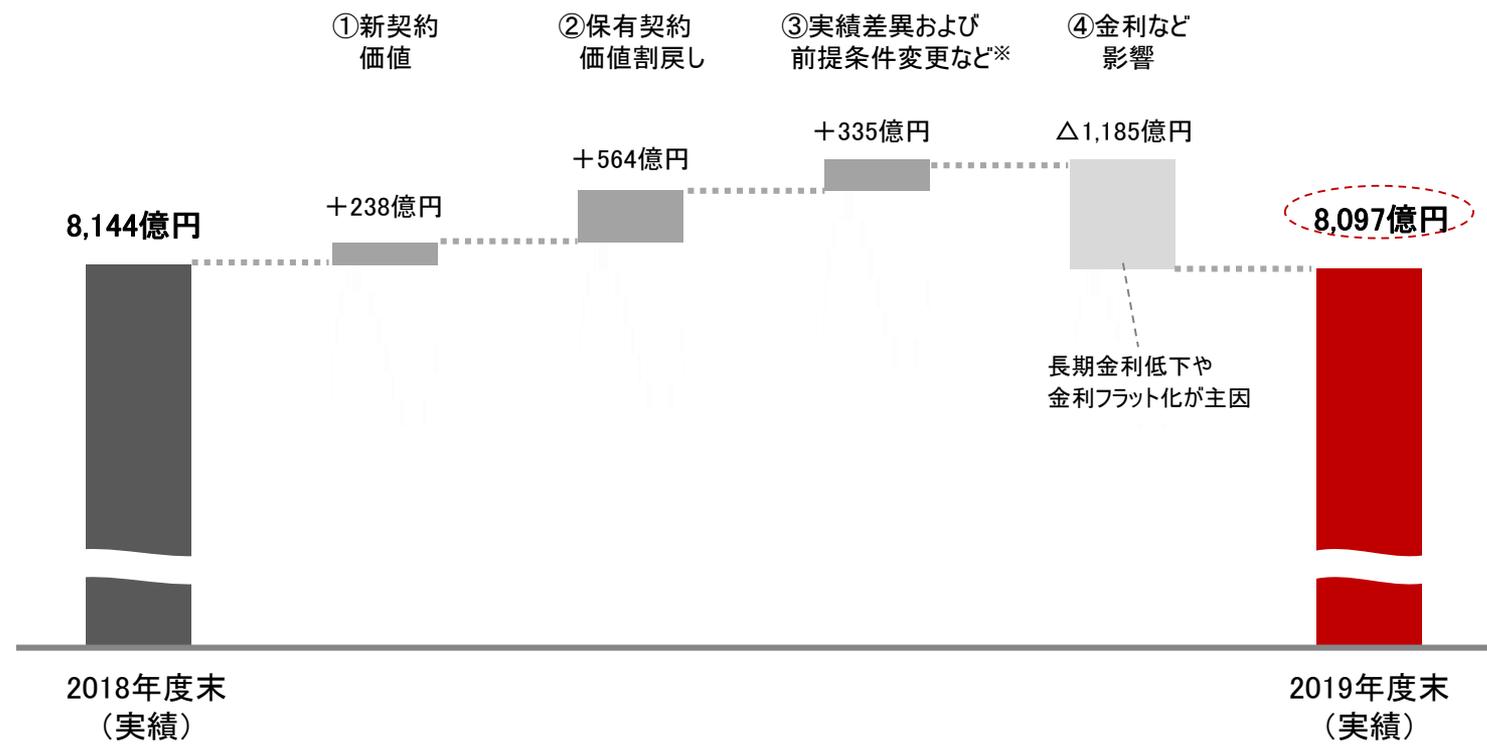


(参考)修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金(税引後)
 ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算(税引後)
 ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却(税引後)

MCEVの増減要因



* 解約率の前提条件変更、配当支払など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

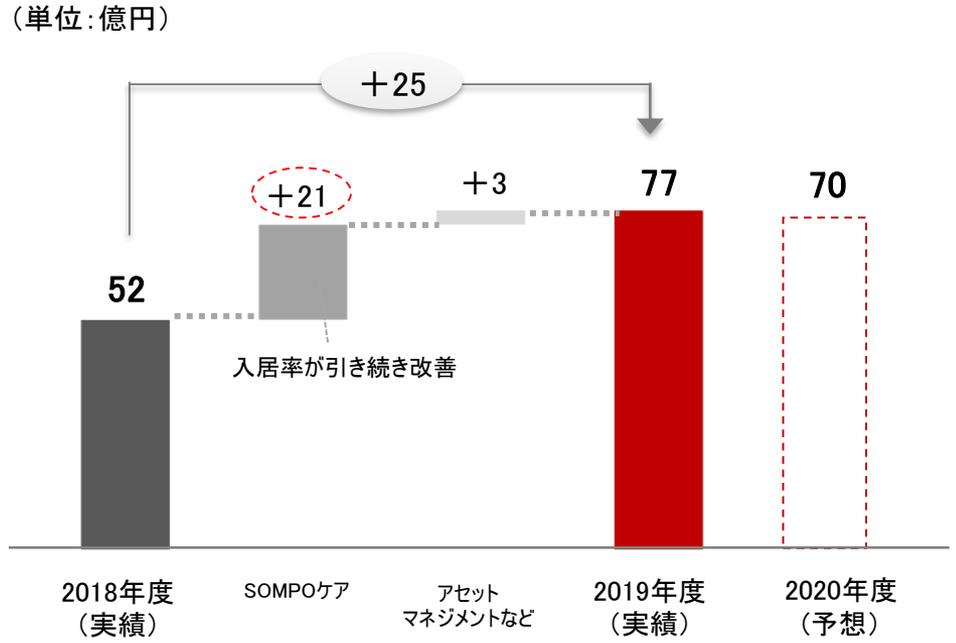
6. ERM・資産運用

◆ 介護事業の修正利益は、入居率改善・生産性向上によるコスト削減により、+21億円増益
 ◆ 2020年度業績予想は、新型コロナウイルスに関連した対策費支出などを織り込む

介護事業(SOMPOケア)の業績

(単位:億円)	2019年度		2020年度
	(実績)	(増減)	(予想)
売上高	1,284	+45	1,325
修正利益	62	+21	63
入居率※1			
(そんぼの家)	92.4%	+0.3pt	93.8%
(そんぼの家S)	94.0%	+0.6pt	95.1%
(ラヴィーレ)	88.5%	+0.9pt	90.2%

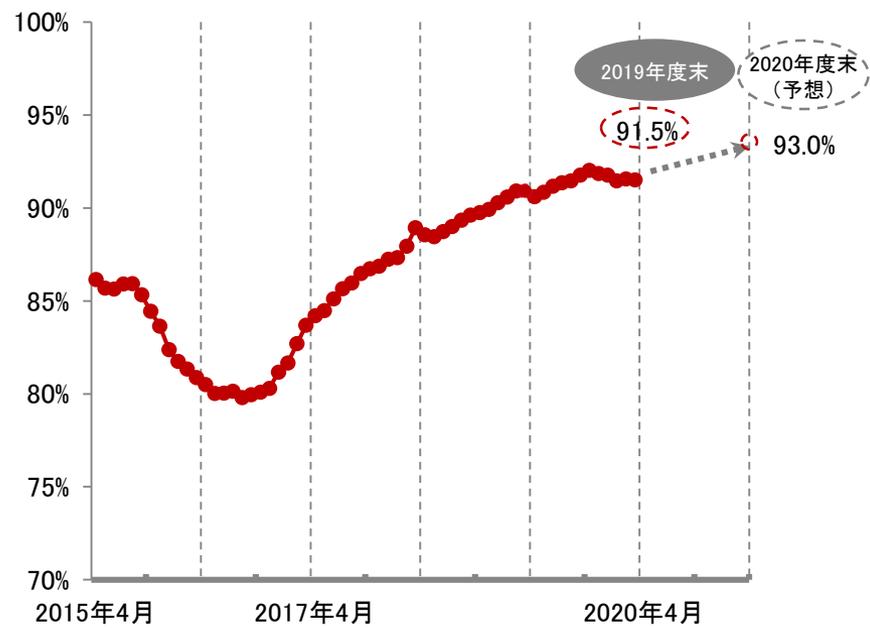
介護・ヘルスケア事業等※2の修正利益



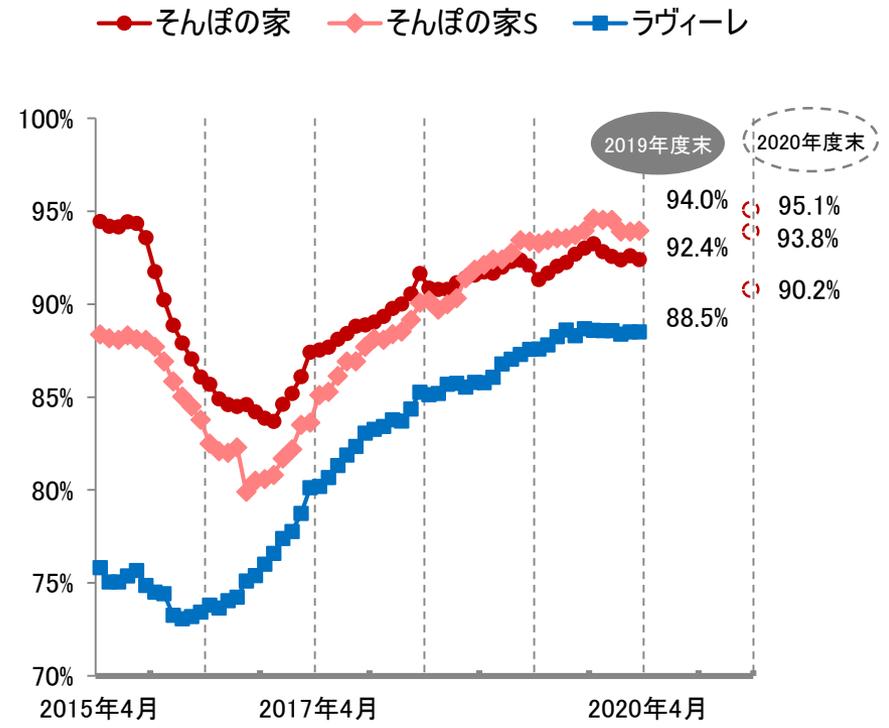
※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 そんぼの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぼの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

※2 介護・ヘルスケア事業等は、SOMPOケア、アセットマネジメントなどの合計

入居率※の推移



(参考)ブランド別入居率の推移



※ 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

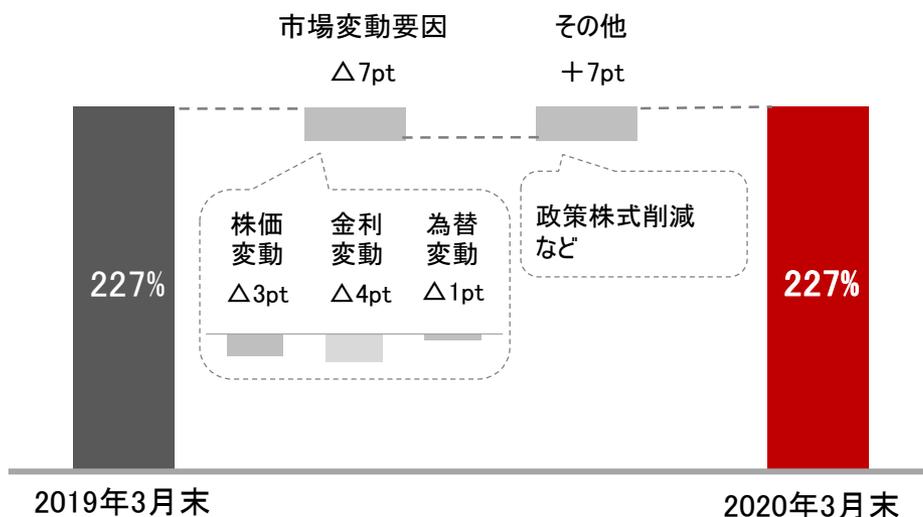
5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

財務健全性: ESR(99.5%VaR)

◆ 2020年3月末のESR(99.5%VaR)は227%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

ESR(99.5%VaR)※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR(99.5%VaR)におけるターゲット資本水準は、概ね180%~250%

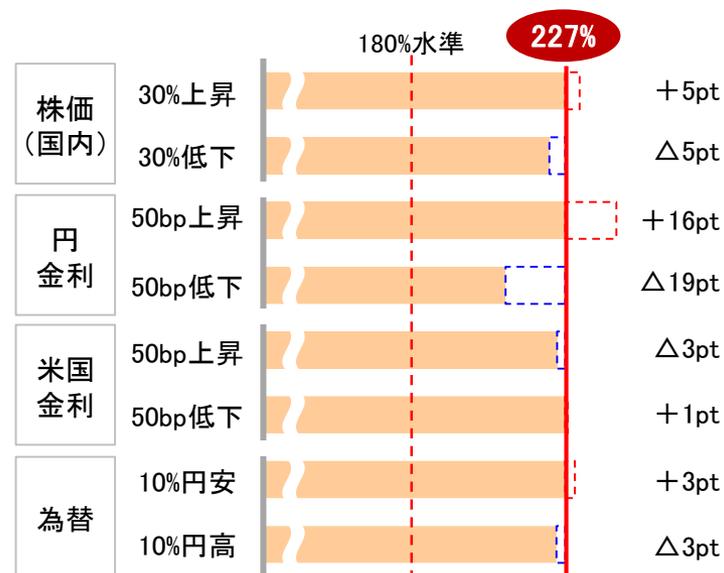
250%水準: 資本効率(ROE)の観点を踏まえた水準

180%水準: ストレステストの結果などを踏まえ、
財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【250%超】 追加的リスクテイク(成長投資)の検討、自己株式取得等による株主還元拡充など
- 【180%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR(99.5%VaR)の感応度分析



(参考)市場環境

	2020年3月末	(増減※2)
国内株価(日経平均株価)	18,917円	(△10.8%)
国内金利(30年物国債利回り)	0.43%	(△8bp)
米国金利	0.67%	(△174bp)
為替(米ドル円レート)	108.83円	(△1.9%)

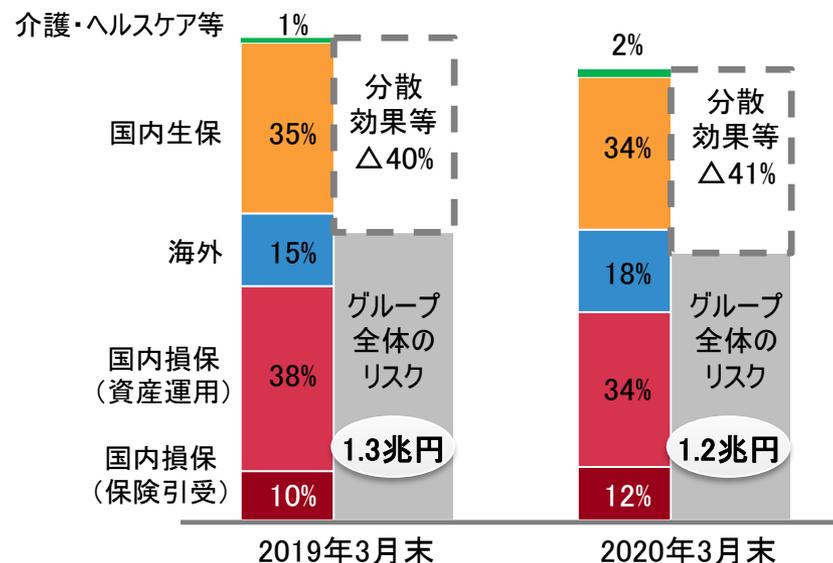
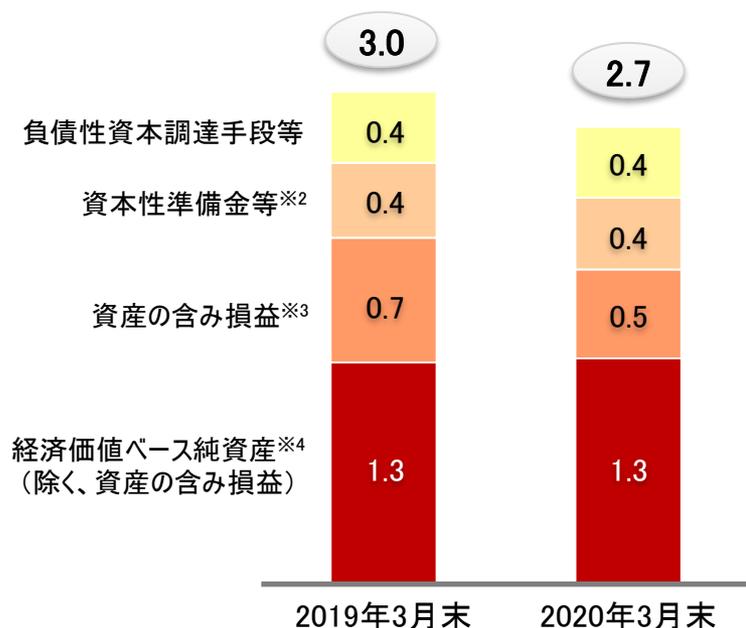
※2 2019年3月末対比

(参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1

リスク量※5

(兆円)



※1 実質自己資本＝単体BS純資産合計額＋保有契約価値－のれん等＋時価評価しない資産の含み損益＋資本性準備金等＋負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など(税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算(のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測

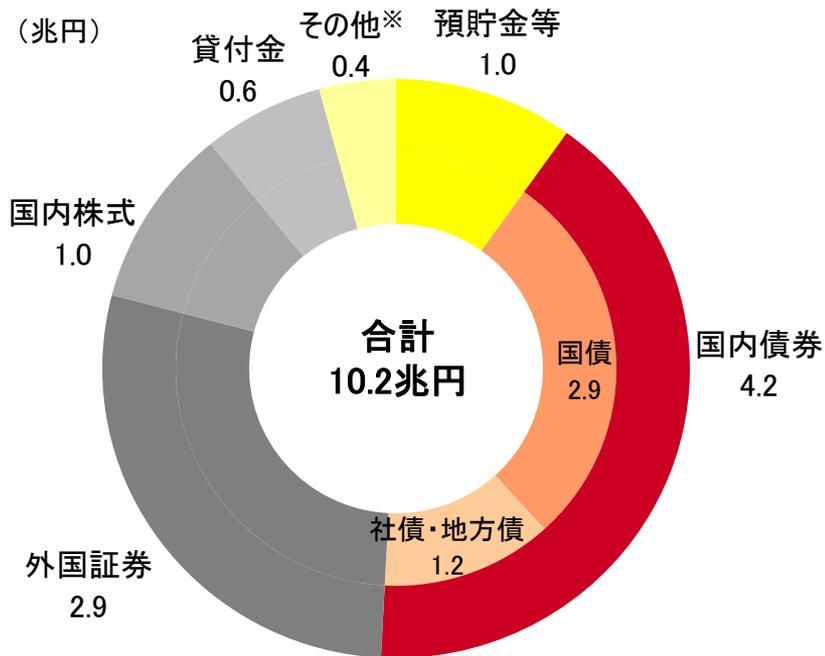
事業毎のリスク量: 事業間のリスク分散効果控除前(税引前)

グループ全体のリスク: 事業毎のリスク量合計－分散効果－税効果

資産ポートフォリオ(グループ連結ベース)

◆ 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額(2020年3月末 グループ連結ベース)



グループ会社別運用資産額

(単位: 億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン	51,685	50.3%
海外グループ会社	14,874	14.5%
ひまわり生命(一般勘定)	34,576	33.6%
セゾン自動車火災	598	0.6%
国内その他	1,066	1.0%
合計	102,800	100%

※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

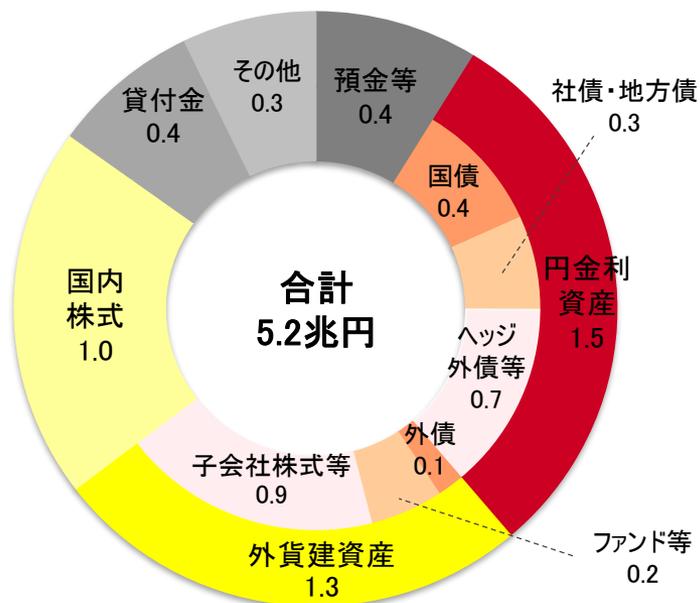
資産ポートフォリオ(損保ジャパン)

◆ 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

運用資産額(2020年3月末 損保ジャパン単体ベース)

【一般勘定】

(兆円)



インカム利回り(一般勘定)^{※1}の推移



格付別構成比^{※2}

格付	構成比
社内格付	
BBB格以上	100%
BB格以下	0%

デレション(年)

	2019年 3月末	2020年 3月末
資産	7.8	7.9
負債	8.5	8.4

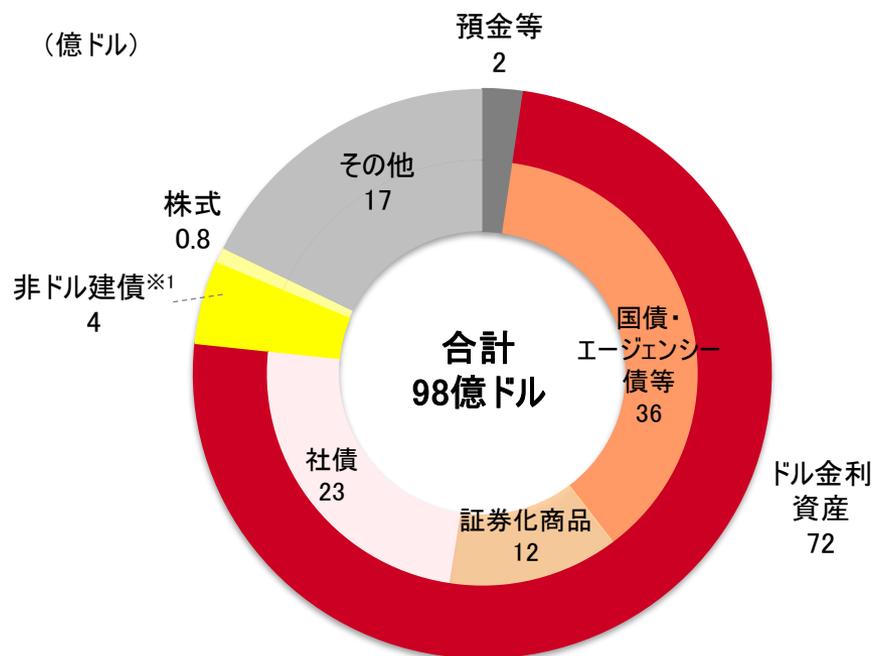
※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

資産ポートフォリオ(SI)

◆ ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額(2019年12月末 SI連結ベース)



格付別構成比※2

格付	構成比
BBB格以上	89%
BB格以下	11%

デュレーション(年)

	2018年 12月末	2019年 12月末
資産	3.2	3.0
負債	2.9	3.0

(参考)2019年12月末のインカム利回り(一部ファンドの未実現損益等の変動を含む)は3.18%

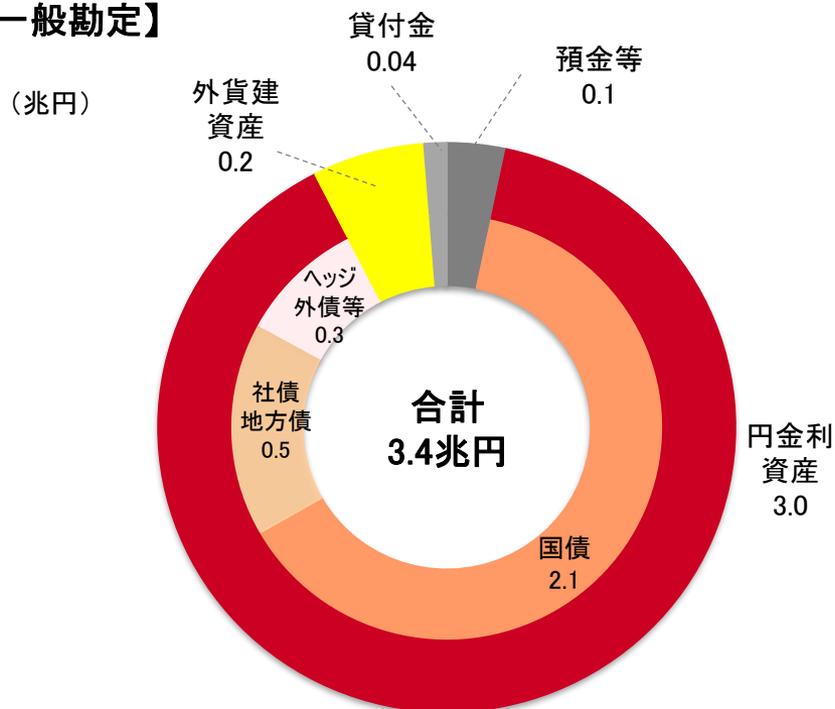
※1 一部預金含む
※2 債券資産の合計

資産ポートフォリオ(ひまわり生命)

- ◆ 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- ◆ 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等への配分を若干拡大

運用資産額(2020年3月末 ひまわり生命単体ベース)

【一般勘定】



インカム利回り(一般勘定)の推移



格付別構成比*

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デレージョン(年)

	2019年 3月末	2020年 3月末
資産	14	14
負債	25	28

(参考)2020年3月末の特別勘定の残高:202億円(主に国内株式・債券で運用)

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

IR室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>